

比企広域設立 30 周年記念誌

令和 3 年度版

消 防 年 報



比 企 広 域 消 防 本 部

(令和 4 年度刊行)

は し が き

この年報は、比企広域消防本部設立30周年の節目を迎えるにあたり、現勢と消防諸般の基本的な統計を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実、育成に資するため編集しました。

内容については、原則として暦年をもって作成にあたり、消防現況については令和4年4月1日現在で作成しました。

この統計により、比企広域消防本部について一層のご理解を深められ防災体制確立に特段のご協力をお願い申し上げます。

令和4年6月

比 企 広 域 消 防 本 部

比企消防歌

保泉一生作詞
小山伸作曲

一、見よ秩父嶺の

みどりの風の

希望に燃ゆる

栄光ある郷土

集う比企の

われらに高き

二、すわ事あらば

濁流渦を

紅蓮の炎

尊き生命

進む比企の

われらに固き

三、あゝ都幾川の

平和の虹の

いらかの波も

防災茲に

熱き比企の

われらに強き

山青く

吹くところ

眉あげて

護らんと

消防の

使命あり

いち早く

巻くところ

猛るなか

救わんと

消防の

決意あり

水清く

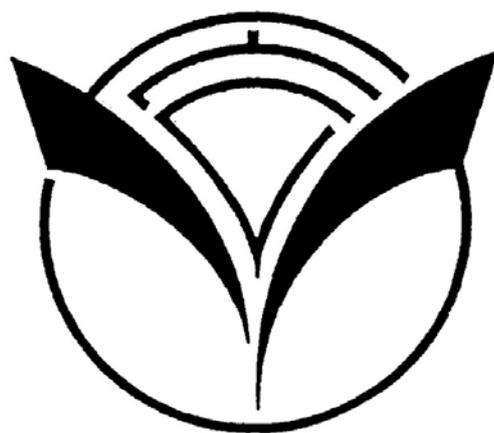
立つところ

ゆるぎなく

憂いなし

消防の

備えあり



図柄説明

比企の比をのびゆく若葉にデザインしたもので中央に広域の広を配し、全体に比企広域市町村圏の発展を意味したものです。

設立30周年にあたり

比企広域市町村圏組合

管理者 **森田 光一**



比企広域消防本部は、平成4年4月に発足し、今年で設立30周年を迎えました。今日まで比企地域における消防行政の発展のためにご尽力を賜りました関係各位に対し、衷心より感謝を申し上げます。

さて、比企広域消防本部は設立以来、地域住民の安全確保に向けた様々な活動に取り組んでまいりました。この間、高齢化の進展や生活様式の変化、自然災害の増加や激甚化、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大など、我が国を取り巻く状況は大きく変化してきました。とりわけ、令和元年10月に発生した「令和元年東日本台風」では、管内の市町村においても2名の尊い命が失われ、多数の家屋が被災し、多くの住民が避難を強いられるなどの甚大な被害が発生し、自然の猛威を痛感するとともに、災害対応と防災対策の重要性を改めて認識いたしました。

このように、消防行政を取り巻く環境が大きく変化している中、消防の最も重要な使命は、災害等から住民の生命と財産を守り、地域の安全・安心を確保することです。比企広域市町村圏組合としても、消防力の充実強化や自主防災組織への支援など、きめ細やかな消防防災インフラの整備に積極的に取り組むことで、誰もがいつまでも安心して暮らせる地域づくりの一翼を担ってまいりました。引き続き、地域住民のニーズを的確にとらえ、その信頼と期待に応えるべく、「災害に強く人にやさしい住みよい比企地域」の実現に向けて、地域防災力の更なる充実強化に全力を注いでまいります。

結びに、関係各位のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、災害のない安全・安心な社会の構築をお誓いし、設立30周年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

設立30周年を迎えて

比企広域消防本部

消防長 **長嶋 悟**



比企広域消防本部設立30周年を迎え、ここに記念誌を発刊できましたのは、これもひとえに組合議会をはじめ地域住民の皆様のご指導とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、近年では豪雨災害をもたらす一因とされる線状降水帯の発生、また、高齢化社会に伴う逃げ遅れによる死者や救急需要の増加、更には新型コロナウイルス感染症の拡大に起因する救急搬送困難事案の増大など、異常気象や社会情勢などの変化により災害事象は大きく変化し、今後ますます消防に対するニーズが高まっているものと強く認識しているところです。

こうした災害が発生するたびに、諸先輩方及び関係者の皆様の熱意とひとかたならぬご努力によって、多くの困難を克服し、地域住民の期待に応えるべく、消防組織として発展してまいりました。更には、消防団をはじめ、比企地区危険物防火安全協会や幼年消防クラブ、地域防災組織など、地域の皆様方の積極的なご協力と献身的なご尽力により、火災の予防や災害による被害の軽減が図られてきたことは、「災害に強いまちづくり」を目指す私どもにとりまして、誠に心強くありがたく思う次第であります。

今後も地域住民の消防機関に寄せる期待に応えるため、先人の足跡を基盤として、更なる発展を見据えて的確な施策を展開し「郷土・使命・決意」を胸に、災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくりに、職員一同全力で取り組んでいく所存であります。

皆様におかれましては、今後とも、消防に対する一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。設立30周年を迎えてのご挨拶といたします。

30周年にあたり

比企広域市町村圏組合

議会議長 **関口 武雄**



比企広域消防本部がここに設立30周年を迎えられますこと、組合議会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。消防関係各位におかれましては、地域の安全・安心のため、日々献身的なご尽力をされていますことに対しまして、深く敬意を表するとともに御礼を申し上げます。

ここに、30周年を迎えられるのは、これもひとえに先人諸賢の英断とたゆまぬご尽力、その他関係各位のご支援、ご協力の賜物であります。

過去30年を振り返りますと、平成から令和にかけて、阪神・淡路大震災を始めとした新潟県中越沖地震や東日本大震災等の地震、また近年では、線状降水帯による日本各地での豪雨・土砂災害等の自然災害が発生しております。こういった多数の災害が猛威を振るう中、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、我々の暮らしは一変いたしました。

このような状況の中、防災の要である消防への期待はより高まっています。これまでに培われ、受け継がれてきた経験や技術力、そして組織力を遺憾なく発揮していただき、圏域住民の安全・安心を守る砦となるべく、更なる消防体制の推進を願っております。

組合議会といたしましても、圏域全体の災害対応能力の充実強化を図るため、執行部と連携しながら、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりの実現に向けて努力を傾注してまいります。

結びに、比企広域消防本部並びに関係各位の益々の発展と皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、比企広域消防本部設立30周年の祝辞とさせていただきます。

目 次

沿 革

比企広域消防発足までの歩み	3
30年の沿革	6
出動件数の推移	22

総 務

管内情報	25
比企広域消防組織図	26
令和4年度構成市町村予算額	27
比企広域消防本部予算額	27
比企広域消防本部予算の構成市町村負担金	28
職員の配置状況	29
職員の勤続年数	30
職員の年齢	31
職員の教育実施状況	32
職員の特殊技能・各種資格状況	33
職員の居住地	34
消防庁舎等の現況	35

警 防

消防力の整備指針と現況	39
消防水利の状況	40
消火栓口径別調	40
主な特殊器具配置状況	41
比企広域消防本部保有車両一覧表	42
地震体験車運行状況	43
用途別運行状況	43
防災体験車運行状況	44
用途別運行状況	44

予 防

市町村別防火対象物一覧表	47
中高層防火対象物数	48

市町村別危険物施設の現況	49
指定数量別危険物製造所等施設数	50
防火管理者資格取得状況	51
住宅防火モデル地区	51
幼年消防クラブ	51

火 災

市町村別火災発生件数	55
月別火災概要（管内総計）	56
市町村月別火災概要	57
出火原因別火災件数	61
令和3年の主な火災	61

救急・救助

月別救急件数	65
市町村別救急出動件数	66
救急隊員の行った応急処置状況	67
傷病程度別搬送人員	67
年齢・区分別搬送人員	67
時間別出動件数	68
曜日別出動件数	68
病院別搬送人員	69
関越自動車道救急出動状況	70
事故種別出動件数及び救助人員	70
事故種別発生場所別救助人員	70
救命講習実施状況	71

通信・気象

消防通信系統図	75
消防用無線施設の状況	77
119番受信状況	78
NET119緊急通報システム受診状況	79
関越自動車道専用受信状況	80
シルバー専用受信状況（緊急通報システム）	80
管内市町村別シルバー登録者数	80
受信別状況（119番通報を除く）	81
気象の注意報・警報の受理状況	81

消 防 団

比企広域市町村圏組合消防団の沿革	85
消防団員配置状況	95
消防団員勤続年数	97
消防団員の年齢	99
消防団員年齢構成	100
基本消防団員と機能別消防団員の定数と実数	101
消防団車庫所在地	102
消防団保有車両一覧表	104

沿 革

比企広域消防本部イメージキャラクター
ひきまる



比企広域消防発足までの歩み

1 東松山市消防本部の主な沿革

昭和40年 4月	東松山市消防本部及び署が設立され、消防長に市長中里勇吉氏が就任し、消防職員14名、消防ポンプ自動車1台をもって、発足した。
昭和43年 3月	救急車（A型）を購入、救急業務を開始した。また、消防力の強化を図るため化学消防ポンプ自動車を購入配備した。
昭和47年10月	東松山市、吉見村、滑川村は、消防事務を共同処理することに合意し、規約（議決）により、名称を東松山地区消防組合と定め、消防一部事務組合を設立し、組合管理者に東松山市長中里勇吉氏が就任した。

2 東松山地区消防組合の主な沿革

昭和48年 4月	東松山地区消防組合消防本部及び東松山消防署を設置し、消防長に岡田義三氏が任命され職員総数55名をもって業務を開始した。 高坂出張所完成（鉄筋コンクリート造2階建一部3階、延べ面積297.75㎡）職員12名、水槽付消防ポンプ自動車1台、予備車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。
昭和49年 7月	吉見出張所完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積350.68㎡）職員16名、水槽付消防ポンプ自動車1台、予備車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。
8月	組合管理者に、東松山市長芝崎亨氏が就任した。
11月	吉見出張所に救急車1台を配備した。
昭和50年 1月	滑川出張所完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積373.00㎡）職員17名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。

昭和50年	8月	関越高速自動車道供用開始に伴い、滑川出張所救急業務を開始した。
昭和55年	10月	東松山地区消防組合消防本部及び東松山消防署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積1,554.10㎡）業務を開始。同時に北分遣所の業務を開始した。
昭和61年	1月	組織等の改正により「吉見出張所」・「滑川出張所」を「吉見分署」「滑川分署」に改めた。
平成	元年 4月	松山北分署完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積509.04㎡）職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。
平成	4年 3月	高坂分署完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積604.71㎡）職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。

3 小川地区消防組合の主な沿革

昭和46年	4月	<p>（組合設立）</p> <p>小川町、嵐山町、玉川村、都幾川村及び東秩父村の2町3村は消防事務について共同処理することに合意し、組合格約により、名称を小川地区消防組合と定め消防の一部事務組合を設立した。組合管理者に小川町長田口勘造氏が就任した。</p> <p>（業務開始）</p> <p>小川地区消防組合消防本部及び小川消防署を設置し派遣職員2名、採用職員27名、消防ポンプ自動車1台、消防指令車1台をもって業務を開始した。</p>
	8月	小川消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を配備した。
昭和47年	4月	小川地区消防組合消防本部及び小川消防署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積741.90㎡）職員58名、救急車1台を購入配備した。

	4月	第1分署完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積296.00㎡）職員13名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。
昭和48年	4月	第2分署完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積301.80㎡）職員13名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。
昭和49年	5月	第3分署完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積247.34㎡）職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。
昭和57年	6月	組合管理者に、小川町長松本繁夫氏が就任した。

4 比企広域消防本部が設立されるまでの沿革

平成	2年	2月	比企広域消防の設立を推進するため、専門委員会を設置した。
平成	3年	3月	東松山地区消防組合消防本部内に比企広域消防準備室を設置し職員5名（東松山地区3名、小川地区2名）配置した。
		12月	構成市町村議会において、統合関係議案が議決された。
平成	4年	2月	比企広域市町村圏組合議会において消防関係条例等の議決がなされ統合事務が終了した。

30年の沿革

平成4年(1992年)

- 4月 1日 東松山地区消防組合と小川地区消防組合は、比企広域市町村圏組合において消防事務を共同処理することに合意し、名称を比企広域消防本部と定め、管理者に東松山市長芝崎亨氏が就任する。
- 〃 比企広域消防本部は、1市4町3村（東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、都幾川村、玉川村、吉見町、東秩父村）で発足。組織1本部（3課）、2消防署、7分署の体制で業務を開始した。
- 〃 初代消防長（比企広域市町村圏組合事務局長兼務）に八木原昇一氏が就任する。
- 〃 新規採用17名、職員総数205名となる。
- 8月18日 連絡車（トヨタ ハイエース）を購入し小川消防署に配備した。
- 12月21日 化学消防自動車Ⅱ型（三菱）を購入し、東松山消防署に更新配備した。

発生した主な災害等

- 3月17日 北海道猛吹雪
8月12日 水無川土石流（長崎）



平成5年(1993年)

- 2月 5日 指揮車（日産 キャラバン）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月31日 4年度内中途採用1名、退職者1名、職員総数205名となる。
- 4月 1日 新規採用5名、比企広域市町村圏組合事務局より職員3名補充、職員総数213名となる。
- 6月 1日 比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、職員総数212名となる。
- 12月22日 水槽付消防ポンプ自動車及び移動無線機10wを購入し、東秩父分署に更新配備した。

発生した主な災害等

- 1月15日 釧路沖地震（M7.5）
2月 7日 能登半島沖地震（M6.6）
7月12日 北海道南西沖地震（M7.8）
7月31日～8月7日 鹿児島豪雨災害
10月12日 東海道はるか沖地震（M6.9）



平成 6 年(1994 年)

- 3月23日 消防緊急通信指令施設Ⅱ型及び自動出動編成、地図検索、情報交換等をコンピュータ処理できるよう整備し、運用開始した。
- 3月31日 5年度内退職者3名、職員総数209名となる。
- 4月1日 新規採用11名、職員総数220名となる。
- 7月20日 連絡車(日産 ADバン)を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 8月4日 指令車(トヨタ カルディナ)を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 8月5日 比企広域市町村圏組合管理者に、東松山市長坂本祐之輔氏が就任する。



発生した主な災害等

10月4日 北海道東方沖地震 (M8.2) 12月28日 三陸はるか沖地震 (M7.6)

平成 7 年(1995 年)

- 2月10日 救急車(ⅡB型)を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 2月28日 救急車(高規格)を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月28日 水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)をし、松山北分署に更新配備した。
- 3月31日 6年度内退職者5名、職員総数215名となる。
- 4月1日 新規採用12名、比企広域市町村圏組合事務局より1名補充、職員総数228名となる。
- 〃 比企広域市町村圏組合職員定数条例の一部を改正する。(消防職員定数245名に改める。)
- 〃 第2代消防長に岡部英雄氏が就任する。
- 6月16日 トヨタカムリZXを東松山危険物防火安全協会より寄贈を受ける。
- 7月21日 査察車(トヨタ マークⅡバン)を購入し、消防本部予防課に更新配備した。
- 10月23日 トヨタコロナを小川地区防火安全協会より寄贈を受ける。
- 11月8日 23時30分頃吉見町大字下細谷950番地2号、東洋製罐株式会社埼玉工場の高さ30.9m、延べ面積4,154㎡のラック式自動倉庫から発生した火災において、翌日未明、消火活動中の職員2名殉職、消火協力者1名死亡する。
- 殉職者
消防司令長 新井伸夫(43歳)
消防士長 高橋 通(22歳)
消火協力者
可児 慎治氏(27歳)
- 12月20日 東松山市中央公民館において、殉職者2名の消防葬を執行した。
- 12月22日 救助工作車(Ⅱ型)を購入し、東松山消防署に更新配備した。



発生した主な災害等

1月17日 阪神淡路大震災 (M7.3) 3月20日 地下鉄サリン事件 7月11日 北信・上越梅雨前線豪雨

平成 8 年(1996 年)

- 1 月 3 1 日 救急車（ⅡB 型 4WD）2 台購入し、吉見分署・都幾川分署に更新配備した。
- 3 月 3 1 日 7 年度内退職者等 4 名（内殉職者 2 名・出向者 1 名）、職員総数 2 2 4 名となる。
- 4 月 1 日 新規採用 1 2 名、職員総数 2 3 6 名となる。
 〃 比企広域消防本部の組織等に関する規則の一部を改正する。（予防課に調査指導係を置き 3 係とした。）
- 6 月 2 4 日 連絡車（トヨタ カルディナ）を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 7 月 3 0 日 連絡車（日産 セレナ）を購入し、消防本部管理課に配備した。
- 1 1 月 6 日 比企広域市町村圏組合消防慰霊祭が執行された。



発生した主な災害等

- 2 月 10 日 北海道豊浜トンネル崩落事故
 8 月 14 日 台風 12 号九州上陸
 12 月 6 日 長野県蒲原沢土石流災害



平成 9 年(1997 年)

- 1 月 2 0 日 救急車（高規格）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 2 月 7 日 救急車（ⅡB 型）を購入し、滑川分署に更新配備した。
- 3 月 3 1 日 8 年度内退職者 1 名、職員総数 2 3 5 名となる。
- 4 月 1 日 新規採用 6 名、職員総数 2 4 1 名となる。
 〃 埼玉県へ職員 1 名出向、職員総数 2 4 0 名となる。
- 5 月 2 7 日 連絡車（トヨタ カローラ）を購入し、消防本部管理課に配備した。
- 6 月 9 日 指令車（三菱 ギャラン）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
 〃 連絡車（日産 ADバン）を購入し、滑川分署に更新配備した。
- 1 1 月 6 日 比企広域市町村圏組合消防慰霊祭が執行された。



発生した主な災害等

- 1 月 2 日 ナホトカ号重油流出事故
 5 月 13 日 鹿児島県北西部地震 (M6.4)
 7 月 10 日 鹿児島県出水市土石流災害
 9 月 16 日 台風 19 号鹿児島県上陸

平成10年(1998年)

- 3月31日 9年度内退職者2名、職員総数238名となる。
- 4月1日 比企広域市町村圏組合職員定数条例の一部を改正する。
(消防職員定数255名に改める。)
- 〃 消防職員服装規程の一部を改正する。(作業服等)
- 〃 新規採用4名、職員総数242名となる。
- 〃 埼玉県内における携帯電話119番通報受信・転送業務を開始した。
- 6月18日 保安車(三菱 レグナム)を購入し、予防課に配備した。
- 11月4日 比企広域市町村圏組合消防慰霊祭が執行された。

発生した主な災害等

- 8月4日 平成10年8月新潟豪雨災害
10月17日 台風10号鹿児島県上陸



平成11年(1999年)

- 3月31日 10年度内退職者1名、職員総数241名となる。
- 4月1日 嵐山分署新庁舎完成(鉄筋コンクリート造2階一部鉄骨造6階建、延べ面積1,200.70㎡)職員20名、水槽付消防ポンプ車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。
- 〃 新規採用6名、職員総数247名となる。
- 10月28日 起震車を購入し、嵐山分署に配置した。
- 11月30日 消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入し、東松山消防署に更新配備した。



発生した主な災害等

- 8月14日 神奈川県玄倉川水難事故
9月24日 台風18号熊本県上陸
9月30日 茨城県東海村臨界事故



嵐山分署新庁舎完成

平成 12 年(2000 年)

- 3 月 2 1 日 救急車（高規格）を財団法人日本損害保険協会より寄贈を受け、嵐山分署に更新配備した。
- 3 月 2 3 日 調査車（三菱 レグナム）を購入し、予防課に更新配備した。
- 3 月 3 1 日 指揮車（トヨタ ハイエース）を購入し、小川消防署に更新配備した。
" 1 1 年度内退職者 6 名、職員総数 2 4 1 名となる。
- 4 月 1 日 職員 1 名の派遣を解き、新規採用 7 名、職員総数 2 4 9 名となる。
" 第 3 代消防長に関根敏正氏が就任する。
" 比企広域消防本部の組織等に関する規則の一部を改正する。（警防課指令係を指令課に改め 4 課とし、警防課に研修・施設係を置き 2 係とした。）
- 5 月 1 8 日 日産キャラバン（1 5 人乗）を東松山危険物防火安全協会より寄贈を受ける。
- 7 月 1 9 日 資機材搬送車（三菱 キャンター）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 7 月 2 5 日 救急車（高規格）を購入し、松山北分署に更新配備した。
- 1 1 月 2 0 日 指令課の地図検索システムを更新した。
- 1 2 月 2 0 日 水槽付消防ポンプ自動車（I-A 型）を購入し、吉見分署に更新配備した。
" 救急車（II B 型）を購入し、高坂分署に更新配備した。



発生した主な災害等

- 3 月 31 日 北海道有珠山噴火
6 月 26 日 東京都三宅島噴火
7 月 1 日 神津島近海地震 (M6. 4)
9 月 11 日～12 日 東海豪雨災害
10 月 6 日 鳥取県西部地震 (M7. 3)



平成 13 年(2001 年)

- 3 月 3 1 日 1 2 年度内退職者 3 名、職員総数 2 4 6 名となる。
- 4 月 1 日 職員 1 名の派遣を解き、新規採用 5 名、職員総数 2 5 2 名となる。
- 8 月 7 日 連絡車（三菱 ミニキャブバン）を購入し、松山北分署に更新配備した。
- 1 0 月 1 日 吉見分署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造 2 階一部鉄骨造 6 階建、延べ面積 1, 529. 84 m²）職員 2 0 名、水槽付消防ポンプ車 1 台、救急車 1 台、連絡車 1 台をそれぞれ配備し、業務を開始した。

発生した主な災害等

- 3 月 24 日 広島芸予地震 (M6. 7)
8 月 21 日 台風 11 号和歌山県上陸
9 月 1 日 新宿歌舞伎町雑居ビル火災
9 月 11 日 アメリカ同時多発テロ

吉見分署新庁舎完成



平成14年(2002年)

- 1月30日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応水Ⅱ型）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 13年度内退職者4名、職員総数248名となる。
- 4月1日 新規採用5名、職員総数253名となる。
- 5月22日 比企広域消防本部設立10周年式典及び幼年消防クラブ発足式が東松山中央公民館にて举行された。
- 8月8日 指揮車（トヨタ ランドクルーザー）を購入し東松山消防署に更新配備した。
- 9月1日 比企広域消防本部ホームページを開設、IT情報サービスを開始する。



発生した主な災害等

7月10日 出木市針原地区土石流災害



平成15年(2003年)

- 1月20日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応水槽付特殊Ⅱ型）を購入し、高坂分署に更新配備した。
- 3月20日 消防本部庁舎の一部149.65㎡を増築し、延べ面積2,471.16㎡となる。
- 3月31日 14年度内退職者2名、職員総数251名となる。
- 4月1日 新規採用4名、職員総数255名となる。
- 〃 消防職員服装規程の一部を改正する。（盛夏服等）
- 11月7日 第6回全国消防広報コンクール「ホームページ部門」において最優秀賞を受賞する。



発生した主な災害等

9月8日 栃木県黒磯タイヤ工場火災
9月26日 十勝沖地震 (M8.0)



平成16年(2004年)

- 2月19日 化学消防ポンプ自動車（災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型）を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 2月28日 比企広域消防音楽隊設立30周年記念演奏会が東松山市松山市民活動センターに於いて開催される。
- 3月31日 15年度内退職者6名、職員総数249名となる。
- 4月1日 新規採用4名、職員総数253名となる。

4月 1日 第4代消防長に安野泰治氏が就任する。
 8月20日 仮称、小川消防署都幾川・玉川分署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階一部4階建、延べ面積999.90㎡）職員20名、水槽付消防ポンプ車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、名称を小川消防署ときたま分署として、業務を開始した。



ときたま分署新庁舎完成

9月 1日 八都県市合同防災訓練（埼玉会場）が、東松山市正代地内において実施される。

9月24日 連絡車2台（日産 ADバン）を購入し、嵐山分署及び、ときたま分署に更新配備した。

11月19日 第7回全国消防広報コンクール「ホームページ部門」において最優秀賞に選ばれ、2年連続の受賞となる。

発生した主な災害等

7月13日 新潟・福島豪雨災害
 10月23日 新潟中越地震（M6.8）



ひきまる（ちびっこまつり）



平成17年(2005年)

1月24日 救急車（災害対応高規格）を購入し、東松山消防署に更新配備した。

2月28日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応水槽付特殊Ⅱ型）を購入し、ときたま分署に更新配備した。

3月31日 16年度内退職者4名、職員総数249名となる。

4月 1日 新規採用6名、職員総数255名となる。

〃 比企広域市町村圏組合職員定数条例の一部を改正する。（消防職員定数270名に改める。）

〃 第5代消防長に須藤勇氏が就任する。

〃 東松山危険物防火安全協会と小川地区防火安全協会が統合し比企地区危険物防火安全協会が発足する。



発生した主な災害等

4月25日 JR 福知山線脱線事故



中学生チャレンジ事業



山林火災防ぎょ訓練



音楽隊設立30周年記念演奏会

平成 18 年 (2006 年)

- 2月 1日 都幾川村と玉川村が合併し「ときがわ町」となる。
- 2月 2日 救急車（高規格）を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 2月 20日 調査車（日産 キャラバン）を購入し、東松山消防署に配備した。
- 3月 31日 17年度内退職者5名、職員総数250名となる。
- 4月 1日 新規採用8名、出向者1名、職員総数257名となる。
- 〃 消防署の組織等に関する規程などの一部を改正する。（両消防署の当直組織を2課制とし、火災調査や立入検査等の事務分掌を改正した。）
- 〃 都幾川村と玉川村の合併に伴い、小川消防署ときたま分署を小川消防署ときがわ分署に改称する。
- 10月 7日 庁用車（日産 ティアナ）を購入し、消防本部管理課に更新配備した。
- 11月 22日 水槽車を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 12月 26日 水槽付消防ポンプ自動車を購入し、滑川分署に更新配備した。



消防特別点検



平成 19 年 (2007 年)

- 1月 5日 水槽車を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 2月 22日 救急車（高規格）を購入し、ときがわ分署に更新配備した。
- 1月 24日 2ヶ年計画による消防本部用地総合整備事業が完了した。
(敷地面積 17,532.36 m²)
- 3月 30日 支援車を新規導入し、消防本部警防課に配備した。
- 3月 31日 18年度内退職者6名、職員総数251名となる。
- 4月 1日 新規採用8名、職員総数259名となる。
- 11月 9日 第10回全国消防広報コンクール「ホームページ部門」において最優秀賞に選ばれ、3度目の受賞となる。



発生した主な災害等

- 1月 20日 兵庫県宝塚市カラオケボックス火災
- 3月 25日 能登半島地震 (M6.9)
- 6月 19日 渋谷温泉施設爆発火災
- 7月 16日 新潟県中越沖地震 (M6.8)



東武鉄道訓練

平成 20 年(2008 年)

- 3 月 1 3 日 救急車（高規格）を購入し、小川消防署に更新
 配備した。
- 3 月 1 4 日 救急車（高規格）を購入し、滑川分署に更新
 配備した。
- 3 月 3 1 日 1 9 年度内退職者 8 名、職員総数 2 5 1 名となる。
 ” 指令課改修工事 2 ヶ年計画、1 9 年度分を完了する。
- 4 月 1 日 職員 2 名の出向を解き、比企広域市町村圏組合事務局へ職員 1 名出向し、
 新規採用 9 名、職員総数 2 6 1 名となる。
- 6 月 2 5 日 連絡車（三菱 ランサーカーゴ）を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 7 月 2 2 日 指令車（トヨタ カローラ）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 7 月 3 1 日 消防本部に防災車庫棟（鉄骨造 2 階建、延べ面積 200.0 ㎡）が完成した。
- 1 1 月 1 7 日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応水槽付特殊Ⅱ型）を購入し、東秩父
 分署に更新配備した。
- 1 2 月 1 0 日 消防ポンプ自動車（CDⅠ型）を購入し、小川消防署に更新配備した。



発生した主な災害等

- 6 月 14 日 岩手・宮城内陸地震 (M7.2)
 10 月 6 日 大阪個室ビデオ店火災



防災車庫棟完成

平成 21 年(2009 年)

- 3 月 6 日 救急車（高規格）を購入し、東秩父分署に更新配備した。
 ” 連絡車（日産 セレナ）を購入し、消防本部管理課に更新配備した。
- 3 月 9 日 救助工作車（Ⅱ型）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3 月 1 2 日 指令課改修工事 2 ヶ年計画が完了した。
- 3 月 3 1 日 2 0 年度内退職者 9 名、職員総数 2 5 2 名となる。
- 4 月 1 日 埼玉県へ 1 名出向、1 名派遣し、新規採用 1 2 名、職員
 総数 2 6 3 名となる。
- 7 月 2 2 日 連絡車（ホンダ パートナー）を購入し、滑川分署に更新配備した。
- 9 月 2 日 指令車（トヨタ カローラ）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 1 1 月 2 5 日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応水槽付特殊Ⅱ型）を購入し、松山
 北分署に更新配備した。



発生した主な災害等

- 3 月 19 日 群馬県渋川市老人ホーム火災
 7 月 5 日 大阪市パチンコ店火災
 8 月 11 日 駿河湾沖地震 (M6.5)
 11 月 22 日 杉並区高円寺駅前雑居ビル火災



消防緊急通信指令施設改修

平成 22 年(2010 年)

- 3 月 2 日 はしご車(30m級)を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3 月 5 日 消防庁長官表彰にて、表彰旗を受章する。
- 3 月 17 日 マイクロ(トヨタ ハイエース 15人乗)を購入し、消防本部管理課に更新配備した。
- 3 月 19 日 連絡車(日産 ティーダ)を2台購入し、消防本部管理課及び小川消防署に更新配備した。
- 3 月 31 日 21年度内退職者12名、職員総数251名となる。
- 4 月 1 日 職員1名の出向を解き、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向し、新規採用14名、職員総数265名となる。
- 〃 第6代消防長に小林敏扶氏が就任する。
- 7 月 2 日 比企地区危険物防火安全協会設立5周年記念式典が開催される。
- 8 月 6 日 比企広域市町村圏組合管理者に、東松山市長森田光一氏が就任する。



消防庁長官表彰旗受章

平成 23 年(2011 年)

- 2 月 25 日 救急車(高規格)を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 3 月 1 日 救急車(高規格)を購入し、高坂分署に更新配備した。
- 3 月 11 日 東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊を岩手県陸前高田市に計6隊18名、福島県本宮市に計8隊24名を派遣する。
- 3 月 13 日 救助工作車(Ⅱ型)を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3 月 16 日 連絡車(トヨタ ハイエース 10人乗)を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3 月 31 日 22年度内退職者14名、職員総数251名となる。
- 4 月 1 日 職員1名の出向並びに派遣を解き、埼玉県へ職員2名派遣し、新規採用13名、職員総数265名となる。
- 〃 第7代消防長に内田公生氏が就任する。



発生した主な災害等

- 3 月 11 日 東日本大震災 (M9.0)
- 3 月 12 日 長野県北部地震 (M6.7)
- 7 月 26 日 新潟・福島豪雨災害
- 9 月 3 日 台風 12 号高知上陸
- 9 月 21 日 台風 15 号静岡上陸



東日本大震災 緊急消防援助隊派遣

平成 24 年(2012 年)

- 2月28日 化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月17日 救急車(高規格)を購入し、松山北分署に更新配備した。
- 3月21日 保安車(トヨタ カローラ)を購入し、消防本部予防課に更新配備した。
- 3月31日 23年度内退職者14名、職員総数251名となる。
- 4月1日 職員1名の出向を解き、東松山市へ職員1名派遣、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向し、新規採用14名、職員総数265名となる。
- 〃 第8代消防長に旭修三郎氏が就任する。
- 6月9日 比企広域消防本部設立20周年記念式典を挙行された。



設立20周年式典開催



小川消防署新庁舎完成

- 6月26日 連絡車(トヨタ プリウス)を購入し、消防本部警防課に更新配備した。
- 10月10日 小川消防署新庁舎完成(鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨造2階、延べ面積2,660.11㎡)職員42名、指令車1台、指揮車1台、資機材搬送車1台、救助工作車1台、連絡車2台、はしご車1台、水槽車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急車1台、調査車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。

平成 25 年(2013 年)

- 3月31日 24年度内退職者17名、職員総数248名となる。
- 4月1日 職員1名の派遣を解き、総務省へ職員1名派遣、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用15名、職員総数263名となる。
- 〃 第9代消防長に須長信夫氏が就任する。
- 11月25日 消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入し、東松山消防署に更新配備した。

発生した主な災害等

- 8月18日 桜島噴火
- 10月16日 台風26号(伊豆大島土砂災害)
- 11月20日 小笠原・西之島沖噴火



航空隊連携訓練



平成 26 年(2014 年)

- 2月28日 はしご車(屈折20m級)を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 25年度内退職者9名、職員総数254名となる。
- 4月1日 職員3名の派遣並びに出向を解き、埼玉県へ職員1名派遣、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名を出向、新規採用12名、職員総数266名となる。
- 9月17日 資機材搬送車(日野 デュトロ)を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 9月19日 防災体験車を購入し、消防本部警防課に配備した。
- 12月24日 救急車(高規格)を購入し、東松山消防署に更新配備した。



発生した主な災害等

- 8月20日 広島県広島市北部土砂災害
- 9月27日 御獄山噴火
- 11月26日 細川和紙ユネスコ無形文化遺産



平成 27 年(2015 年)

- 1月20日 査察車(ホンダ フィット)を購入し、消防本部予防課に更新配備した。
- 2月17日 消防救急デジタル無線設備設置工事が完了し、運用を開始した。
- 2月25日 地震体験車を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 3月9日 指令課の表示パネル(車両運用表示盤・支援情報表示盤・多目的情報表示盤・映像制御装置)を更新し運用を開始した。
- 3月13日 指揮車(トヨタ ハイエース)を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 26年度内退職者13名、職員総数253名となる。
- 4月1日 職員2名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用13名、職員総数266名となる。
- 7月1日 滑川分署新庁舎完成(鉄筋コンクリート造2階建一部6階建、延べ面積(1,219.66 m²)職員20名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。



発生した主な災害等

- 5月17日 川崎市簡易宿泊所火災
- 5月29日 鹿児島県口永良部島噴火
- 9月9日 関東・東北豪雨



滑川分署新庁舎完成

平成28年(2016年)

- 3月4日 指令課(指令装置・表示盤・指令伝送装置・災害状況等自動案内装置・音声合成装置・システム監視装置・統合型位置情報通知システム・監視カメラ運用)を更新し、運用を開始した。
- 3月9日 救急車(高規格)を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 3月18日 水槽付消防ポンプ自動車(災害対応特殊水槽付Ⅱ型)を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 3月31日 27年度内退職者10名、職員総数256名となる。
- 4月1日 職員1名の出向を解き、新規採用13名、職員総数270名となる。

発生した主な災害等

- 4月14日 熊本地震(M6.5)
12月22日 糸魚川市大規模火災



消防緊急指令施設更新



平成29年(2017年)

- 1月19日 指令課のディスプレイ(車両表示端末装置・出退表示入力端末装置・指令情報受信装置)を更新し、運用を開始した。
- 3月11日 救急車(災害対応高規格)を購入し、ときがわ分署に更新配備した。
- 3月15日 指揮車(トヨタハイエース)を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月21日 救急車(高規格)を購入し、滑川分署に更新配備した。
- 3月24日 水槽付消防ポンプ自動車(災害対応特殊水槽付Ⅱ型)を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 28年度内退職者13名、職員総数257名となる。
- 4月1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用12名、職員総数269名となる。
- 〃 第10代消防長に吉野勝己氏が就任する。

発生した主な災害等

- 2月16日 三芳町アスクル倉庫火災
7月5日 九州北部豪雨



平成 30 年 (2018 年)

- 2月19日 救急車（高規格）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月6日 東秩父分署新庁舎完成（鉄骨造2階建、延べ面積462.71㎡）職員11名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。
- 3月31日 29年度内退職者9名、職員総数260名となる。
- 4月1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向し、新規採用8名、職員総数267名となる。
- 〃 第11代消防長に小林明雄氏が就任する。
- 12月25日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、高坂分署に更新配備した。

発生した主な災害等

- 6月18日 大阪北部地震 (M6.1)
- 6月28日 西日本豪雨 (台風7号)
- 9月4日 台風21号 (関西国際空港被害)
- 9月6日 北海道胆振東部地震 (M6.7)



東秩父分署新庁舎完成



救急技術審査会

平成 31 年・令和元年 (2019 年)

- 2月8日 救急車（高規格）を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 3月31日 30年度内退職者1名、職員総数266名となる。
- 4月1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用3名、職員総数269名となる。
- 〃 比企広域市町村圏組合職員定数条例の一部を改正する。(消防職員定数286名に改める)
- 12月11日 松山北分署庁舎の大規模改修工事が完了した。

発生した主な災害等

- 5月1日 「平成」から「令和」へ元号変更
- 7月18日 京都アニメーション火災
- 10月12日 台風19号 (東日本台風)
- 10月31日 沖縄首里城火災
- 12月8日 新型コロナウイルス発生



台風19号による災害救助活動



松山北分署大規模改修工事完了

令和2年(2020年)

- 1月15日 救急車(高規格)を購入し、松山北分署に更新配備した。
- 1月21日 化学消防ポンプ自動車(災害対応特殊化学Ⅱ型)を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 3月31日 元年度内退職者3名、職員総数266名となる。
- 4月1日 職員1名の出向を解き、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向し、新規採用7名、職員総数273名となる。
- 7月15日 無人航空機(ドローン DJI Mavic)を購入し、東松山消防署と小川消防署に配備し、運用を開始する。
- 9月11日 連絡車(トヨタ ピクシスメガ)を購入し、ときがわ分署に更新配備した。
- 10月1日 指令課にNet119緊急通報システムを導入し運用を開始する。
- 12月16日 救急車(高規格)を購入し、東松山消防署に更新配備した。



発生した主な災害等

- 7月3日 熊本豪雨
12月17日 北陸地方豪雪



無人航空機ドローン配備



Net119 緊急通報システム導入

令和3年(2021年)

- 2月3日 救急車(高規格)を購入し、高坂分署に更新配備した。
- 3月31日 2年度内退職者7名、職員総数266名となる。
- 4月1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用6名、職員総数272名となる。
- 5月1日 埼玉西部消防組合、坂戸・鶴ヶ島消防組合、比企広域市町村圏組合及び西入間広域消防組合は、消防指令業務を共同処理するため、埼玉西部地域消防指令事務協議会を設置する。
- 〃 埼玉西部地域消防指令事務協議会へ職員1名派遣する。

発生した主な災害等

- 2月13日 福島県沖地震(M7.3)
2月25日 栃木県足利市山火事
7月3日 熱海市土砂災害
7月23日 東京オリンピック開催
12月17日 大阪ビル火災



消防出初式

令和4年(2022年)

- 1月27日 救急車(高規格)を購入し、東秩父分署に更新
配備した。
- 2月17日 水槽付消防ポンプ自動車(災害対応特殊水槽付一
II型)を購入し、ときがわ分署に更新配備した。
- 3月18日 滑川分署の女性施設改修工事が完了した。
- 3月31日 3年度内退職者6名、職員総数266名となる。
- 4月1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名出向、
新規採用8名、職員総数273名となる。
- 〃 第12代消防長に長嶋悟氏が就任する。
- 〃 女性消防職員として、全国初のドローン運用アド
バイザーに職員1名が認定された。



発生した主な災害等

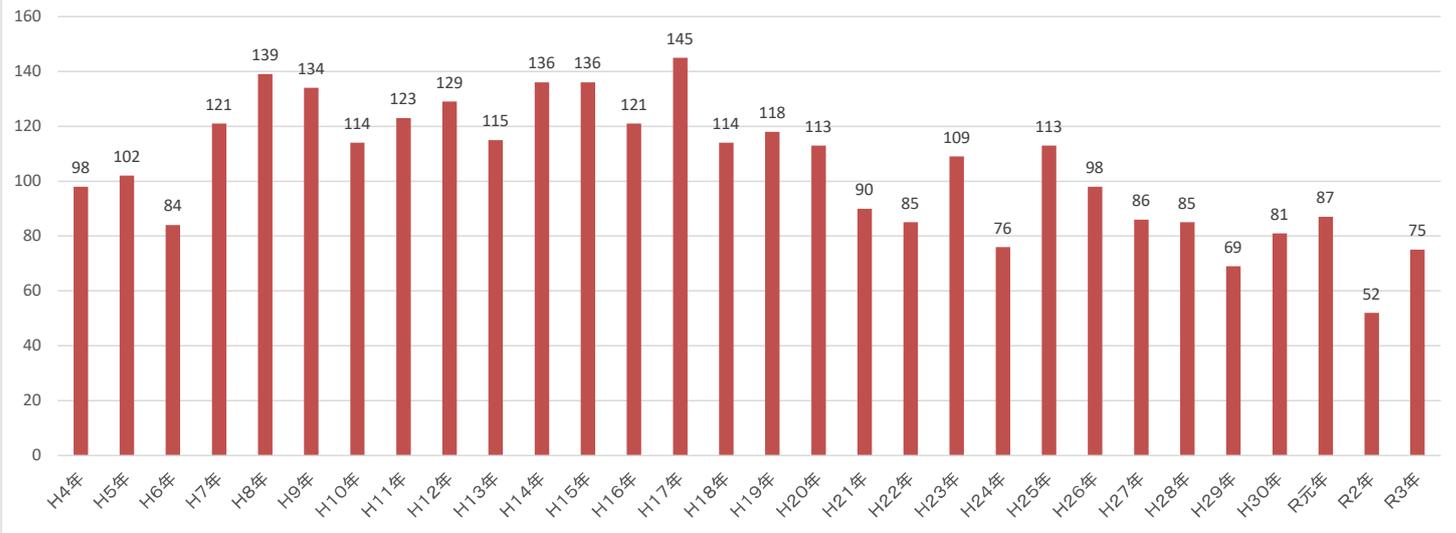
- 2月12日 新潟県工場火災
3月16日 福島県沖地震(M7.3)



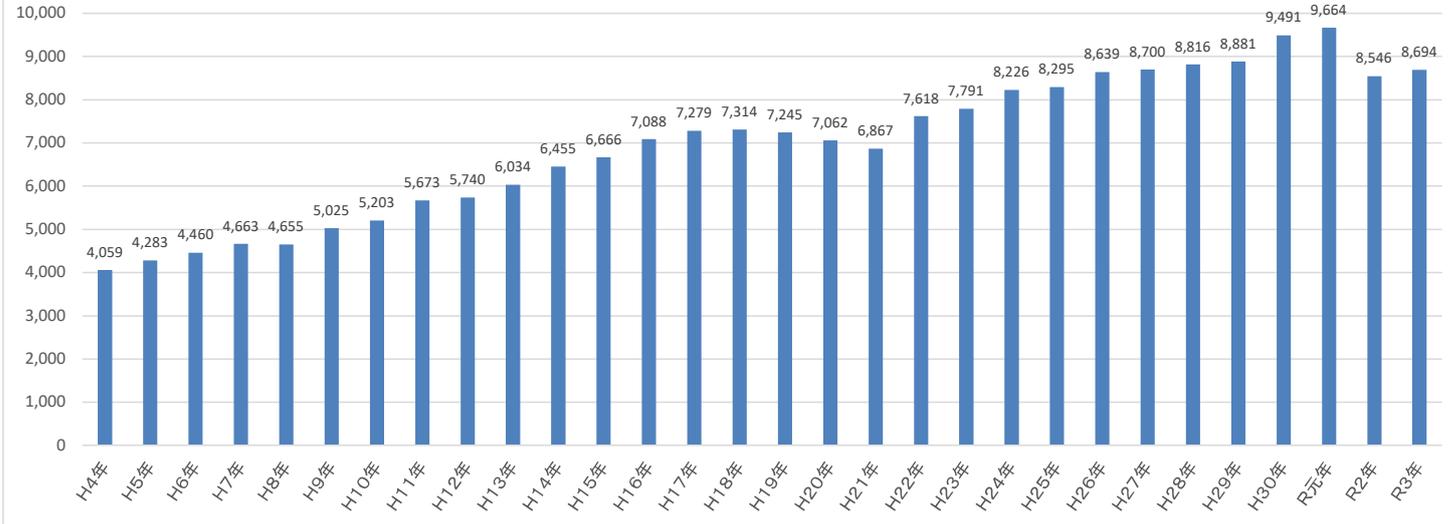
ドローン運用アドバイザー認定

出動件数の推移

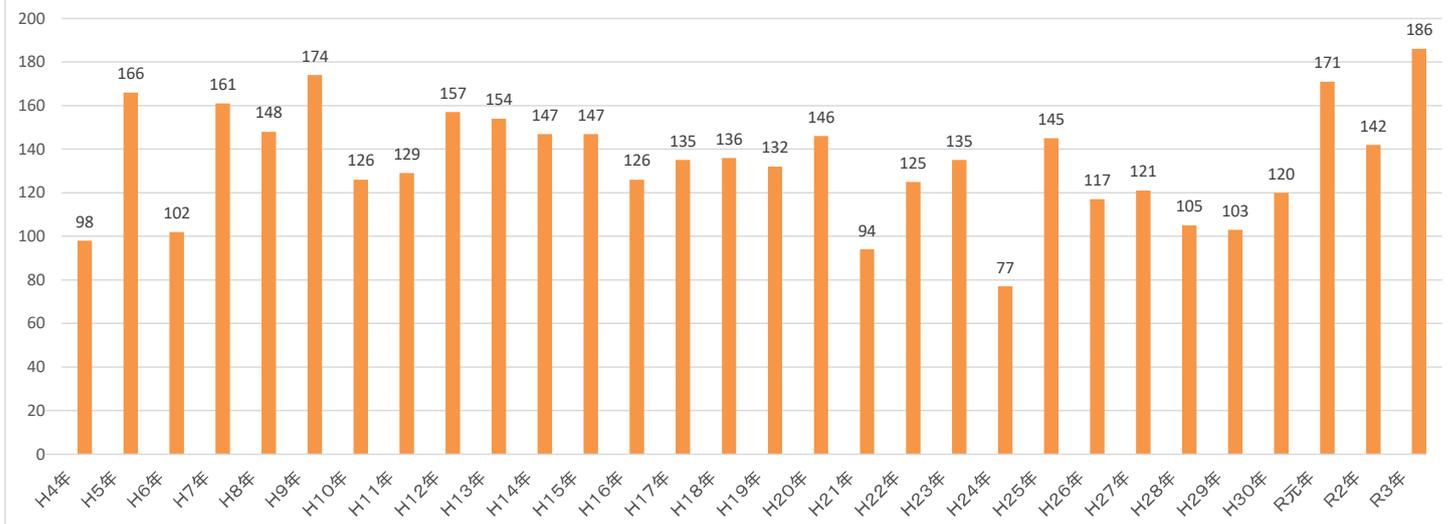
火災出動件数



救急出動件数



救助出動件数



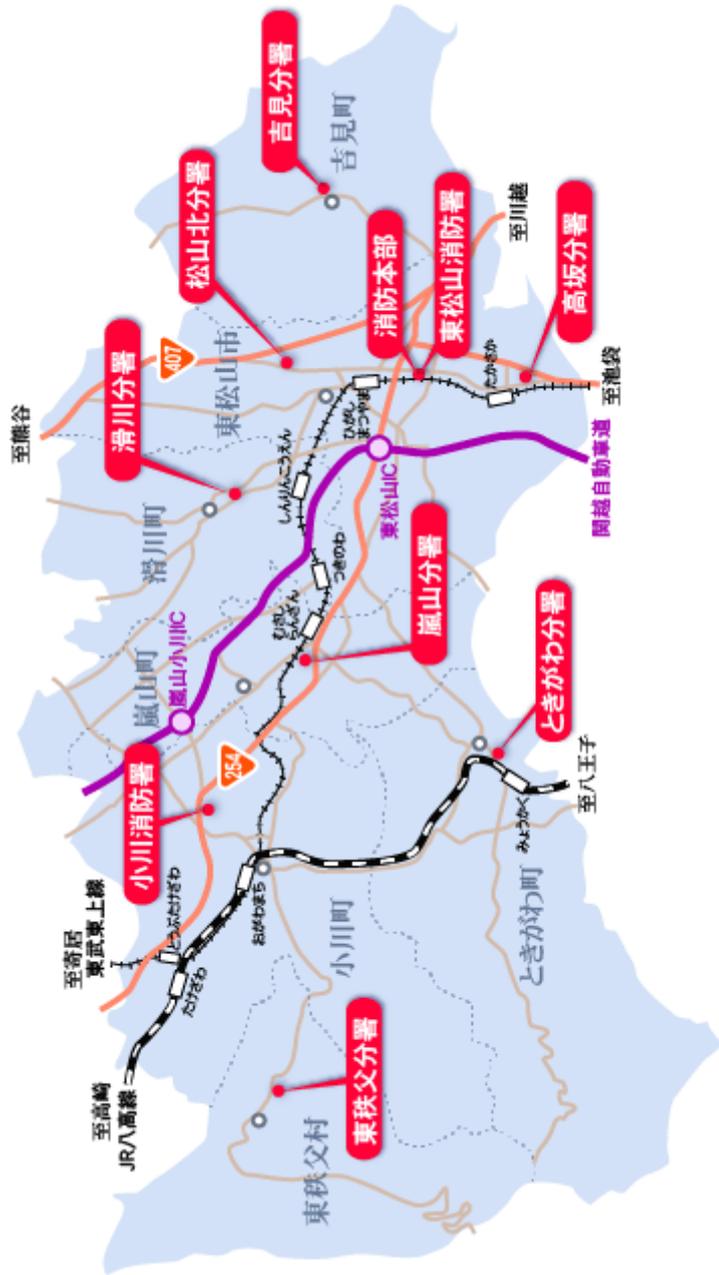
総務

令和3年度防火ポスター展
東松山市長賞



東松山市立市の川小学校4年生 船戸 すず さん

管内情報



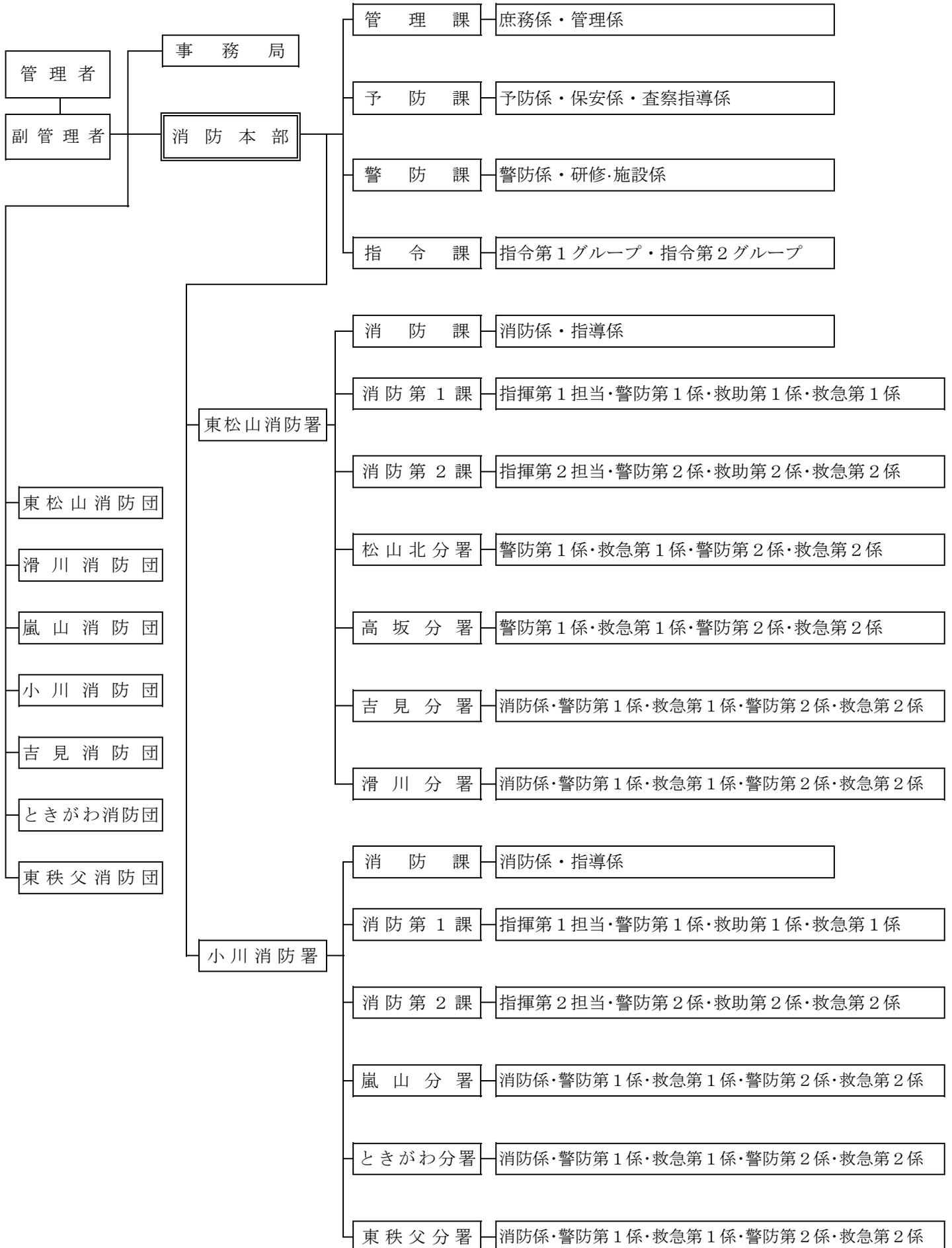
管内の面積・人口・世帯

(令和4年4月1日現在)

区分	東松山市	滑川町	嵐山町	小川町	吉見町	ときがわ町	東秩父村	合計
面積 km ²	65.35	29.68	29.92	60.36	38.64	55.90	37.06	316.91
人口	男	10,033	8,756	14,216	9,245	5,457	1,332	94,459
	女	44,971	9,625	8,794	14,278	9,069	5,271	93,288
	合計	90,391	19,658	17,550	28,494	18,314	10,728	2,612
世帯数	41,764	8,119	8,150	13,008	7,868	4,736	1,062	84,707

比企広域消防組織図

(令和4年4月1日現在)



令和4年度構成市町村予算額

(単位 千円)

市町村名	一般会計予算額	消防費予算額	一般会計と消防費の割合 (%)
東松山市	31,130,000	1,223,019	3.93
滑川町	6,542,000	352,062	5.38
嵐山町	6,173,000	333,748	5.41
小川町	9,378,000	528,241	5.63
吉見町	7,050,000	341,369	4.84
ときがわ町	5,252,332	292,136	5.56
東秩父村	1,997,000	150,931	7.56
合計	67,522,332	3,221,506	4.77

比企広域消防本部予算額

歳入

(単位 千円)

款	4年度予算額	3年度予算額	4年度構成比 (%)
1 分担金及び負担金	2,949,528	2,950,898	90.53
2 使用料及び手数料	6,246	5,039	0.19
3 国庫支出金	2	2	0.00
4 県支出金	1	1	0.00
5 財産収入	21	126	0.00
6 寄附金	1	1	0.00
7 繰越金	120,000	100,000	3.69
8 諸収入	27,401	21,333	0.84
9 組合債	154,800	91,600	4.75
歳入合計	3,258,000	3,169,000	100.00

歳出

(単位 千円)

款	4年度予算額	3年度予算額	4年度構成比 (%)
1 総務費	30,910	22,214	0.95
2 消防費	3,037,394	2,933,421	93.23
3 公債費	179,918	203,782	5.52
4 予備費	9,778	9,583	0.30
歳出合計	3,258,000	3,169,000	100.00

比企広域消防本部予算の構成市町村負担金

(単位 千円)

市町村名	年度	常備消防費	非常備消防費	合 計
東 松 山 市	4 年	1,089,710	21,412	1,111,122
	3 年	1,082,237	21,189	1,103,426
滑 川 町	4 年	314,258	19,781	334,039
	3 年	292,098	19,381	311,479
嵐 山 町	4 年	296,931	27,157	324,088
	3 年	295,607	28,820	324,427
小 川 町	4 年	432,868	33,504	466,372
	3 年	462,319	31,119	493,438
吉 見 町	4 年	300,144	22,840	322,984
	3 年	311,556	23,884	335,440
と き が わ 町	4 年	239,626	29,502	269,128
	3 年	239,969	32,390	272,359
東 秩 父 村	4 年	93,452	28,343	121,795
	3 年	77,169	33,160	110,329
合 計	4 年	2,766,989	182,539	2,949,528
	3 年	2,760,955	189,943	2,950,898

職 員 の 配 置 状 況

(令和4年4月1日現在)

階 級 別 所 属 別		消 防 吏 員							合 計		
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長		消 防 士	
消 防 本 部	消 防 長	1								1	
	次 長		2							2	
	管 理 課	課 長		(1)							(1)
		課 長 補 佐				1					1
		庶 務 係					1	1	1		3
		管 理 係					2		1		3
		派 遣 等					2	1			3
	予 防 課	課 長			1						1
		課 長 補 佐				2					2
		予 防 係					1	2			3
		査 察 指 導 係					1			1	2
		保 安 係				(1)		2			(1) 2
	警 防 課	課 長			1						1
		課 長 補 佐				1					1
		警 防 係					2	1			3
		研 修 ・ 施 設 係					2				2
	指 令 課	課 長			1						1
		指 令 第 1 グループ				2	4				6
		指 令 第 2 グループ				1	4	1			6
	消 防 署	東 松 山 消 防 署	署 長		1						1
副 署 長					1					1	
消 防 課					(1)	2	1	1			(1) 4
消 防 第 1 課					1	2	5	5	4	7	24
消 防 第 2 課					1	2	5	6	3	7	24
松 山 北 分 署						1	4	4	4	6	19
高 坂 分 署						1	4	5	3	4	17
吉 見 分 署					1	2	6	5	3	4	21
滑 川 分 署					1	3	5	4	3	4	20
小 川 消 防 署	署 長		1							1	
	副 署 長			1						1	
	消 防 課			(1)	1	2	1			(1) 4	
	消 防 第 1 課			1	2	5	5	3	5	21	
	消 防 第 2 課			1	2	5	5	3	5	21	
	嵐 山 分 署			1	2	5	6	2	4	20	
	と き が わ 分 署			1	2	5	5	3	4	20	
	東 秩 父 分 署				1	4	3	3		11	
合 計		1	(1) 4	(2) 13	(1) 30	75	63	36	51	(4) 273	

() 内は、兼務者及び事務取扱者の数を示す。

職 員 の 勤 続 年 数

(令和4年4月1日現在)

階 級 別 勤続年数別	合 計	消 防 吏 員							
		消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
1 年 未 満	(2) 8								(2) 8
1 年 以 上 2 年 未 満	(3) 6								(3) 6
2 年 以 上 3 年 未 満	6								6
3 年 以 上 4 年 未 満	2								2
4 年 以 上 5 年 未 満	(2) 8					1			(2) 7
5 年 以 上 6 年 未 満	10							5	5
6 年 以 上 7 年 未 満	13							5	8
7 年 以 上 8 年 未 満	8							4	4
8 年 以 上 9 年 未 満	10							5	5
9 年 以 上 10 年 未 満	12						6	6	
10 年 以 上 11 年 未 満	13						9	4	
11 年 以 上 12 年 未 満	12						9	3	
12 年 以 上 13 年 未 満	12					2	7	3	
13 年 以 上 14 年 未 満	12						11	1	
14 年 以 上 15 年 未 満	8					2	6		
15 年 以 上 16 年 未 満	(1) 8					2	(1) 6		
16 年 以 上 17 年 未 満	8					7	1		
17 年 以 上 18 年 未 満	4					4			
18 年 以 上 19 年 未 満	4					4			
19 年 以 上 20 年 未 満	4					3	1		
20 年 以 上 21 年 未 満	5					5			
21 年 以 上 22 年 未 満	5					4	1		
22 年 以 上 23 年 未 満	6					6			
23 年 以 上 24 年 未 満	(1) 5					(1) 5			
24 年 以 上 25 年 未 満	3				1	2			
25 年 以 上 26 年 未 満	5				1	4			
26 年 以 上 27 年 未 満	11				1	8	2		
27 年 以 上 28 年 未 満	12				4	8			
28 年 以 上 29 年 未 満	7				4	3			
29 年 以 上 30 年 未 満	5				3	2			
30 年 以 上 31 年 未 満	13			3	7	1	2		
31 年 以 上 32 年 未 満	10			1	6	2	1		
32 年 以 上 33 年 未 満	5		1	2	2				
33 年 以 上 34 年 未 満	4			2	1		1		
34 年 以 上 35 年 未 満									
35 年 以 上 36 年 未 満	4	1	2	1					
36 年 以 上 37 年 未 満	2			2					
37 年 以 上 38 年 未 満									
38 年 以 上 39 年 未 満	2		1	1					
39 年 以 上 40 年 未 満	1			1					
40 年 以 上 41 年 未 満									
41 年 以 上 42 年 未 満									
合 計	(9) 273	1	4	13	30	(1) 75	(1) 63	36	(7) 51
平均 勤 続	16.4	35.0	35.0	33.5	29.2	21.6	13.9	8.3	3.9

() 内は、女性消防吏員数を示す。

職 員 の 年 齢

(令和4年4月1日現在)

階 級 別 年 齢 別	合 計	消 防 吏 員							
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
1 8 歳	(1) 3								(1) 3
1 9 歳	2								2
2 0 歳	(1) 3								(1) 3
2 1 歳									
2 2 歳	5								5
2 3 歳	(1) 6								(1) 6
2 4 歳	3								3
2 5 歳	(2) 12								(2) 12
2 6 歳	(2) 12								(2) 12
2 7 歳	7							5	2
2 8 歳	9							6	3
2 9 歳	10							10	
3 0 歳	5							5	
3 1 歳	12						7	5	
3 2 歳	13						11	2	
3 3 歳	16						13	3	
3 4 歳	9						9		
3 5 歳	8						8		
3 6 歳	2						2		
3 7 歳	12					8	4		
3 8 歳	(1) 8					6	(1) 2		
3 9 歳	3					2	1		
4 0 歳	7					7			
4 1 歳	4					4			
4 2 歳	8					8			
4 3 歳	1					1			
4 4 歳	6					5	1		
4 5 歳	(1) 13					(1) 13			
4 6 歳	10				1	9			
4 7 歳	11				4	6	1		
4 8 歳	14				10	4			
4 9 歳	9				6	2	1		
5 0 歳	9			3	6				
5 1 歳	4			1	1		2		
5 2 歳	1			1					
5 3 歳	2				2				
5 4 歳	3		1	2					
5 5 歳	4			4					
5 6 歳	2		2						
5 7 歳	3		1	1			1		
5 8 歳	2	1		1					
5 9 歳									
6 0 歳									
合 計	(9) 273	1	4	13	30	(1) 75	(1) 63	36	(7) 51
平均年齢	37.2	58.0	55.8	53.5	48.8	42.5	35.2	29.5	24.0

()内は、女性消防吏員数を示す。

職 員 の 教 育 実 施 状 況

(令和4年4月1日現在)

教 育 課 程					累 計	3年 度	教 育 課 程					累 計	3年 度	
消 防 大 学 校	総 合	幹 部 科			6	1	初 任 教 育					265	5	
		専 科	警 防 科			3		教 育 部	初 級 幹 部 科			14	1	
	救 助 科			6		予 防 科 予 防 課 程			4					
	救 急 科			6		予 防 科 危 険 物 課 程			0					
	予 防 科			1		埼 玉 県 消 防 学 校	専 科 教 育	予 防 査 察 科			23			
	危 険 物 科			1				火 災 調 査 科			18	2		
	火 災 調 査 科			13				警 防 科			39	2		
	講 習		航 空 隊 長 コ ー ス					2		特 殊 災 害 科			11	
		女 性 活 躍 推 進 コ ー ス			1				救 急 科 Ⅱ 課 程 ・ 標 準 課 程 含 む			214	12	
		自 主 防 災 組 織 育 成 短 期 コ ー ス			1				救 助 科			61	2	
		危 機 管 理 国 民 保 護 コ ー ス			2				警 防 活 動 教 育			21	1	
	合 計				42	1	特 別 教 育							
								警 防 活 動 教 育					21	1
								実 火 災 訓 練 教 育					11	3
							幹 部 特 別 教 育					13	1	
							実 科 指 導 員 教 育					10		
							水 難 救 助 員 教 育					6		
							は し ご 車 操 作 員 教 育					2		
							高 度 ・ 特 別 高 度 救 助 教 育					4		
							合 計					716	29	

職員の特殊技能・各種資格状況

(令和4年4月1日現在)

種 類			総 数	種 類		総 数
自 動 車 運 転 免 許	大 型	2 種	2	危 険 物 取 扱 者	甲 種	4
		1 種	239		乙 種	45
	普 通 (中型・準中型含む)	1 種	32		丙 種	35
	大 型 特 殊		7	予 防 技 術 資 格 認 定 者		22
	自 動 二 輪		65	特 殊 無 線 技 士		240
	け ん 引		5	衛 生 管 理 者		11
自 動 車 整 備 士			1	高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者		41
消 防 設 備 士		甲	5	小 型 船 舶 操 縦 士		69
		乙	10	潜 水 士		77
消 防 設 備 点 検 資 格 者		1 種	8	特 定 化 学 物 質 等 作 業 者 技 能 講 習		25
		2 種	8	技 能 講 習 修 了 者	ガ ス 溶 接	34
救 急 救 命 士		61	ア ー ク 溶 接		13	
応 急 手 当 指 導 員 養 成 講 習		223	玉 掛		82	
			酸 素 欠 乏 危 険 作 業		51	
			有 機 溶 剤 主 任		4	
			足 場 組 立 作 業 主 任		9	
			小 型 移 動 式 ク レ ー ン		83	

職 員 の 居 住 地

(令和4年4月1日現在)

居 住 地		人 員	居 住 地		人 員
管内の居住地	東 松 山 市	81	管外の居住地	鴻 巣 市	5
	滑 川 町	32		桶 川 市	3
	嵐 山 町	13		行 田 市	2
	小 川 町	36		深 谷 市	5
	吉 見 町	21		久 喜 市	1
	と き が わ 町	14		さ い た ま 市	1
	東 秩 父 村	5		秩 父 市	1
	管 内 計	202		日 高 市	1
管外の居住地	坂 戸 市	8		鳩 山 町	4
	鶴 ケ 島 市	4		川 島 町	2
	熊 谷 市	5		寄 居 町	11
	川 越 市	8		越 生 町	2
	北 本 市	2		毛 呂 山 町	2
	狭 山 市	1		上 里 町	1
	入 間 市	1		管 外 計	71
	朝 霞 市	1	合 計	273	

消 防 庁 舎 等 の 現 況

(令和4年4月1日現在)

区 分	所 在 地	建 築 年月日	構 造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消 防 本 部 東 松 山 消 防 署	〒 355-0073 東松山市 大字上野本1300-1 Tel 0493-23-2265(代表)	昭和 55. 10. 31 平成 20. 7. 31 23. 3. 24 (改修)	鉄筋コンクリート造2階建 車庫棟(別棟) 本部 鉄骨造 署 鉄骨造 防災車庫棟(別棟)鉄骨造2階建 訓練塔B塔(別棟) 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建	17,532.36	2,820.83
松 山 北 分 署	〒 355-0005 東松山市 大字松山2551-1 Tel 0493-23-2260	平成 1. 4. 1 令和 1. 12. 11 (改修)	鉄筋コンクリート造2階建 車庫棟(別棟) 鉄骨造	3,147.54	509.04
高 坂 分 署	〒 355-0045 東松山市 大字宮鼻860-15 Tel 0493-34-4535	平成 4. 3. 25	鉄筋コンクリート造2階建 車庫棟(別棟) 鉄骨造	4,000.02	604.71
吉 見 分 署	〒 355-0118 比企郡吉見町 大字下細谷1196-1 Tel 0493-54-1558	平成 13. 10. 1	鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造6階建 車庫棟(別棟) 鉄骨造	4,759.64	1,529.84
滑 川 分 署	〒 355-0811 比企郡滑川町 大字羽尾2532-2 Tel 0493-56-2221	平成 27. 7. 1	鉄筋コンクリート造2階建 一部6階建	2,787.96	1,219.66
小 川 消 防 署	〒 355-0312 比企郡小川町 大字上横田1247-2 Tel 0493-72-3565	平成 24. 10. 1 0	鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造2階建 車庫棟(別棟)鉄骨造 訓練塔B塔(別棟) 鉄筋コンクリート造3階建 訓練塔C塔(別棟) 鉄骨造3階建	9,697.40	2,660.11
嵐 山 分 署	〒 355-0215 比企郡嵐山町大字平沢 仮換地7街区1画地 Tel 0493-62-3890	平成 11. 4. 1	鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造6階建 車庫棟(別棟) 鉄骨造	2,386.53	1,200.70
と き が わ 分 署	〒 355-0354 比企郡ときがわ町 大字番匠385-1 Tel 0493-65-1531	平成 16. 8. 20	鉄筋コンクリート造2階建 一部4階建	2,162.26	999.90
東 秩 父 分 署	〒 355-0375 秩父郡東秩父村 大字御堂541-1 Tel 0493-82-1215	平成 30. 3. 6	鉄骨造2階建	2,473.69	462.71

警 防

令和3年度防火ポスター展
滑川町長賞

警

防



滑川町立宮前小学校4年生 岡田 橙馬 さん

消防力の整備指針と現況

1 管内人口

(令和4年4月1日現在)

区 分	人 口
市 街 地 の 人 口	166,413
準 市 街 地 の 人 口	12,004
そ の 他 の 地 域 の 人 口	9,330
合 計	187,747

2 常備消防力

(令和4年4月1日現在)

区 分	基 準 数	現 有 数	充 足 率 (%)
署 所	※ 9	9	100.0

区 分	基 準 数	現 有 数	充 足 率 (%)	基 準 人 員	現 有 人 員	充 足 率 (%)
消 防 ポ ン プ 自 動 車 (水 槽 車 2 台 含 む)	※ 11	11	100.0	※ 289	207	71.6
指 揮 車	2	2	100.0			
は し ご 車	2	2	100.0			
化 学 消 防 車	※ 2	2	100.0			
救 助 工 作 車	2	2	100.0			
救 急 車	※ 9	9	100.0			
予 防 要 員				※ 26	14	53.8
通 信 員				※ 13	13	100.0
庶 務 処 理 等 の 人 員				※ 39	39	100.0
合 計				※ 366	273	74.5

3 非常備消防力

(令和4年4月1日現在)

区 分	基 準 数	現 有 数	充 足 率 (%)	基 準 人 員	現 有 人 員	充 足 率 (%)
分 団 (部)	※ 42	42	100.0	※780(45)	690(34)	88.4
消 防 ポ ン プ 自 動 車 (台)	※ 39	39	100.0			
手 引 き ・ 小 型 動 力 ポ ン プ (口)	※ 7	7	100.0			
動 力 消 防 ポ ン プ 車 数 (口)	※ 85	85	100.0			

()内は、機能別消防団員数を示す。

※印の基準については、市町村の実情に基づき算定した弾力基準数です。

消防水利の状況

(令和4年4月1日現在)

種別 市町村別	防火水槽		消火栓		プール 沼・池	消 防 井 戸	合 計
	40 m ³ 以上	20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	150 mm 以上	150 mm 未満			
東松山市	598	172	618	665	44		2,097
滑川町	99	54	227	202	51		633
嵐山町	127	48	104	184	1		464
小川町	215	29	203	585	13		1,045
吉見町	169	35	162	265	24		655
ときがわ町	191	45	86	175	5		502
東秩父村	60	14	13	109	2		198
合 計	1,459	397	1,413	2,185	140	0	5,594

消火栓口径別調

(令和4年4月1日現在)

口径 市町村別	100mm 未満	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm 以上	合 計
	東松山市	117	548	309	160	37	
滑川町	121	81	134	59		34	429
嵐山町	85	99	70	26	3	5	288
小川町	363	222	101	76	16	10	788
吉見町	133	132	67	53	12	30	427
ときがわ町	107	※ 68	39	45		2	261
東秩父村	85	※ 24	13				122
合 計	1,011	1,174	733	419	68	193	3,598

※ 125mm口径を含む(ときがわ町 1基、東秩父村 3基)

主な特殊器具配置状況

(令和4年4月1日現在)

分類	所属別 器具名	合計	警	東	松	高	吉	滑	小	嵐	と	東
			防	松	山	坂	見	川	川	山	き	秩
			課	山	山	分	分	分	分	分	が	父
				防	北	署	署	署	署	署	わ	分
				署	分						分	署
					署							
照明器具	発電機	35	5	11	2	2	2	1	9	1	1	1
	投光器一式	27	1	9	2	1	2	1	8	1	1	1
	照明装置	2		1					1			
破壊器具	エンジンカッター	18		5	2	1	2	1	4	1	1	1
	ガス溶断機	3		2					1			
	チェーンソー	15		4	1	1	1	1	3	2	1	1
	空気鋸	5		3					2			
	削岩機	4		2					2			
	ハンマードリル	4		3					1			
	大型油圧救助器具一式	4		2					2			
	油圧救助器具一式	4		2					2			
救助器具	三連梯子	18	1	4	1	2	1	2	3	2	1	1
	かぎ付き梯子	6		4					2			
	救命索発射銃	6		3					3			
	サバイバースリング又は救助用縛帯	46		22	3	1	2	2	14	1	1	
	平担架	9		3			1		3	1	1	
	バスケット担架	6		3					3			
	可搬式ウインチ	12		4			1		6		1	
	マンホール救助器具	4		2					2			
	マット型空気ジャッキ	3		2					1			
	救助用支柱器具	1		1								
	クレーン装置 (3t未満)	2		1					1			
	油圧ウインチ装置 (電動を含む)	4		2					2			
	耐電服一式	11		7					4			
	防毒服一式	2		2								
	陽圧式化学防護服	12		10					2			
	放射能防護服一式	7		3				1	2	1		
	耐熱服一式	6		2					2	2		
	高圧活線接近警報機	10		5					5			
	検電器	2		1					1			
	除染シャワーシステム一式	1		1								
	潜水器具一式	8		8								
	救命ボート (アルミ製、ゴム製、FRP製)	4		2			1		1			
船外機	4		2			1		1				
画像探索機	3		2					1				
熱画像直視装置	3		2					1				
測定器具	張力計	7		2			1		2	1	1	
	ガス測定器	11		2	1	1	1	1	2	1	1	1
	真空法ガス検知器	4		2					2			
	放射線測定器	10	1	5					4			
	ポケット線量計	26	21	5								
	赤外線放射温度計	4		2					2			
その他	空気ポンベ	267		95	16	17	17	16	66	15	15	10
	酸素ポンベ	198	4	64	11	9	12	12	55	10	11	10
	酸素呼吸器	5		5								
	空気呼吸器	109		42	5	5	5	5	32	6	6	3
	送排風機	5		3					2			
	緩降機	5		3					2			
	エアータント一式	3	2						1			
	車両移動器具	2		1					1			

比企広域消防本部保有車両一覧表

(令和4年4月1日現在)

区分	No.	名称	シャシ・ポンプ等	登録ナンバー	初年度登録	無線装置	A V M	広 報 装 置	備 考
消防本部	1	庁用車	ニッサン	熊谷300 ふ3959	H18.10				乗用 (ティアナ)
	2	連絡車	トヨタ	熊谷300 ゆ1853	H24. 6				乗用 (プリウス)
	3	査察車	ホンダ	熊谷800 す5292	H27. 1	●		●	予防1 (フィット)
	4	保安車	トヨタ	熊谷800 す3741	H24. 2	●		●	予防2 (カローラ)
	5	連絡車	ニッサン	熊谷501 つ1270	H21. 2				乗用 (セレナ)
	6	連絡車	ニッサン	熊谷501 と 524	H22. 3				乗用 (ティアダ)
	7	マイクロ	トヨタ	熊谷200 さ1182	H22. 3				乗用 (ハイエース) 15人乗り
	8	支援車	三菱	熊谷800 す 854	H19. 3	●	●	●	20人乗り
	9	地震体験車	いすゞ	熊谷830 さ1502	H27. 2				
	10	防災体験車	トヨタ	熊谷400 ち4497	H26. 9				電動リフター (100kg)
東松山消防署	11	指令車	トヨタ	熊谷800 す2469	H21. 8	●		●	
	12	指揮車	トヨタ	熊谷800 す6436	H29. 2	●	●	●	
	13	松山1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 す1202	H24. 2	●	●	●	水槽 (1.3t) 化学薬液 (0.5t) C A F S 装置
	14	松山2号車	日野・モリタA-2	熊谷830 さ1311	H25.11	●	●	●	
	15	水槽車	日野・ロビンB-2	熊谷800 は 511	H18.11	●	●	●	水槽 (9t)
	16	救助工作車	日野	熊谷830 た1102	H23. 2	●	●	●	照明・ウインチ・クレーン・救助資機材
	17	はしご車	日野	熊谷830 た1002	H22. 2	●	●	●	照明・30m級先端屈折
	18	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 せ2012	R 2.11	●	●	●	高度救命処置資器材
	19	調査車	ニッサン	熊谷800 さ9801	H18. 2	●	●	●	
	20	資機材搬送車	日野	熊谷830 さ1409	H26. 9	●	●	●	格納式パワーゲート (1000kg)
	21	パワーショベル	小松		H 3.11				付属品グラスパーV
松山北分署	22	松山北1号車	日野・モリタA-2	熊谷800 は 644	H21.10	●	●	●	水槽 (2t) 災害対応水II型
	23	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 ね2001	R 1.12	●	●	●	高度救命処置資器材
	24	連絡車	三菱	熊谷 80 あ 865	H13. 7	●		●	
高坂分署	25	高坂1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 せ1811	H30.12	●	●	●	水槽 (2t) 災害対応水II型・C A F S 装置
	26	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 す2102	R 3. 1	●	●	●	高度救命処置資器材
	27	連絡車	ニッサン	熊谷880 あ 225	H19. 7	●		●	
吉見分署	28	吉見1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 せ1603	H28. 3	●	●	●	水槽 (2t) 災害対応水II型・C A F S 装置
	29	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 そ1603	H28. 3	●	●	●	高度救命処置資器材
	30	連絡車	三菱	熊谷800 す1741	H20. 6	●		●	
	31	資機材搬送車	三菱	熊谷800 さ5820	H14. 8	●		●	
滑川分署	32	滑川1号車	日野・モリタA-2	熊谷800 は 519	H18.12	●	●	●	水槽 (2t)
	33	高規格救急車	トヨタ	熊谷800 す6453	H29. 2	●	●	●	高度救命処置資器材
	34	連絡車	ホンダ	熊谷800 す2425	H21. 7	●		●	
小川消防署	35	指令車	トヨタ	熊谷800 す1743	H20. 6	●		●	
	36	指揮車	トヨタ	熊谷800 す5387	H27. 3	●	●	●	
	37	小川1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 す1702	H29. 2	●	●	●	水槽 (2t) 災害対応水II型・C A F S 装置
	38	小川2号車	日野・モリタA-2	熊谷800 す2041	H20.11	●	●	●	動力昇降装置・動力ホース延長装置
	39	水槽車	日野・モリタB-2	熊谷800 は 527	H19. 2	●	●	●	水槽 (5t)
	40	救助工作車	日野	熊谷831 と 119	H21. 2	●	●	●	照明・ウインチ・クレーン・救助資機材
	41	はしご車	日野	熊谷830 す1402	H26. 2	●	●	●	20m級屈折はしご
	42	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 さ1801	H30. 1	●	●	●	高度救命処置資器材
	43	調査車	トヨタ	熊谷800 す1374	H19.12	●		●	
	44	資機材搬送車	三菱	熊谷800 さ5821	H14. 8	●		●	
	45	連絡車	ニッサン	熊谷501 と 525	H22. 3				乗用 (ティアダ)
	46	連絡車	トヨタ	熊谷300 も5447	H23. 3				乗用 (ハイエース) 10人乗り
	嵐山分署	47	嵐山1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 め2001	R 1.12	●	●	●
48		高規格救急車	トヨタ	熊谷830 す1901	H31. 2	●	●	●	高度救命処置資器材
49		連絡車	ニッサン	熊谷800 さ8402	H16. 9	●		●	
ときがわ分署	50	ときがわ1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 つ2201	R 4. 1	●	●	●	水槽 (2t) 災害対応水II型・C A F S 装置
	51	高規格救急車	トヨタ	熊谷800 す6454	H29. 2	●	●	●	高度救命処置資器材
	52	連絡車	トヨタ	熊谷880 あ1496	R 2. 8	●		●	
東秩父分署	53	東秩父1号車	日野・モリタA-2	熊谷800 は 617	H20.11	●	●	●	水槽 (2t) 災害対応水II型
	54	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 た2201	R 4. 1	●	●	●	高度救命処置資器材
	55	連絡車	ニッサン	熊谷800 す1051	H19. 7	●		●	
予備車	56	高規格救急車	トヨタ	熊谷800 す5273	H26.12	●	●	●	高度救命処置資器材
	57	予備消防車	日野・モリタA-2	熊谷800 は 357	H17. 2			●	水槽 (2t)

地震体験車運行状況

(令和3年1月～令和3年12月)

件数等 月別	運行件数	操作回数	体験人数
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	2	12	24
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	6	83	447
12月	4	37	126
合計	12	132	597

用途別運行状況

(令和3年1月～令和3年12月)

用途別 利用数	公民館	集会所	病院	老人福祉施設	保育園	幼稚園	養護施設	学校 (小中高)	その他	合計
件数		2	0	0		3	0	1	6	12
体験人数		64	0	0		373	0	56	104	597

防災体験車運行状況

(令和3年1月～令和3年12月)

件数等 月別	運行件数	体験回数	体験人数
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	2	20	48
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	2	41	82
12月	3	43	165
合計	7	104	295

用途別運行状況

(令和3年1月～令和3年12月)

用途別 利用数	公民館	集会所	病院	老人福祉施設	保育園	幼稚園	養護施設	学校 (小中高)	その他	合計
件数		2	0	0	0	0	0	1	4	7
体験人数		113	0	0	0	0	0	48	134	295

予 防

令和3年度防火ポスター展
嵐山町長賞



嵐山町立菅谷小学校4年生 新井 咲翔 さん

市町村別防火対象物一覧表

(令和4年4月1日現在)

項目・用途			市町村別								
			東松山市	滑川町	嵐山町	小川町	吉見町	ときがわ町	東秩父村	合計	
1	イ	劇場・映画館								0	
	ロ	公会堂又は集会場	67	14	26	46	17	28	7	205	
2	イ	キャバレー・カフェ等								0	
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	2	1	2	1	1		11	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								0	
	ニ	カラオケボックス等	1							1	
3	イ	待合・料理店等								0	
	ロ	飲食店	55	13	20	34	5	22	1	150	
4		百貨店・マーケット等	132	22	32	37	14	13	2	252	
5	イ	旅館・ホテル等	12	4		4	1	1	2	24	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	910	154	122	105	33	15	5	1,344	
6	イ	(1)	避難のために患者の介助が必要な施設	2			3				5
		(2)	避難のために患者の介助が必要な有床診療所	1							1
		(3)	上記(1)以外の病院、上記(2)以外の有床診療所・有床助産所	9	2	2	4				17
		(4)	無床診療所・無床助産所	46	4	4	19	3	3		79
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	24	5	5	14	4	9	2	63
		(2)	救護施設								0
		(3)	乳児院								0
		(4)	障害児入所施設等								0
		(5)	障害者支援施設	18	3	24	1	5	1		52
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等	13	1	5	9	5	2		35
		(2)	更生施設								0
		(3)	保育施設	27	7	4	4	1	4	1	48
		(4)	障害児入所施設	2	1	2	1	1			7
		(5)	就労支援・共同生活援助を行う施設等	33	8	7	4	3	1		56
	ニ	幼稚園、特別支援学校等	17	2	2		2	1		24	
7		小・中・高・大学校等	89	17	20	30	17	13	4	190	
8		図書館・博物館・美術館等	6	2	3	3	3		1	18	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								0	
	ロ	イ以外の公衆浴場	1	2		1	1	2		7	
10		車両の停車場等	1	2		1				4	
11		神社・寺院・教会等	32	10	12	6	7	7	2	76	
12	イ	工場又は作業場	362	131	155	149	102	164	24	1,087	
	ロ	映画・テレビスタジオ								0	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	20	1	1	3		5		30	
	ロ	飛行機格納庫								0	
14		倉庫	158	43	44	55	71	60	3	434	
15		事務所・銀行等	274	64	49	65	63	38	23	576	
16	イ	複合用途(特定防火対象物)	150	15	15	44	10	12	6	252	
	ロ	複合用途(イ以外のもの)	94	9	9	14	3	7		136	
16の2		地下街								0	
16の3		準地下街								0	
17		重要文化財建造物等	3		3	2	3	3	2	16	
18		アーケード								0	
19		市町村長の指定する山林								0	
20		自治省令で定める舟車								0	
合計			2,563	538	567	660	375	412	85	5,200	

中高層防火対象物数

(令和4年4月1日現在)

項目・用途		階別	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	合計	
1	イ	劇場・映画館												0	
	ロ	公会堂又は集会場												0	
2	イ	キャバレー・カフェ等												0	
	ロ	遊技場又はダンスホール		1										1	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等												0	
3	イ	待合・料理店等												0	
	ロ	飲食店												0	
4		百貨店・マーケット等	1											1	
5	イ	旅館・ホテル等	1		1	2	1							5	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	59	5	3	3	5	8	4	2		1	2	92	
6	イ	(1)	避難のために患者の 介護が必要な施設	2				1						3	
		(2)	避難のために患者の 介護が必要な施設											0	
		(3)	上記(1)以外の病院、上記(2)以外の 有床診療所・有床助産所	2	1	1								4	
		(4)	無床診療所・無床助産所											0	
	ロ	(1)	老人短期入所施設等												0
		(2)	救護施設												0
		(3)	乳児院												0
		(4)	障害児入所施設等												0
		(5)	障害者支援施設												0
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等												0
		(2)	更生施設												0
		(3)	保育施設												0
		(4)	障害児入所施設												0
		(5)	就労支援・共同生活援助を行う施設等												0
	ニ	幼稚園、特別支援学校等												0	
	7		小・中・高・大学校等	5	1		1								7
8		図書館・博物館・美術館等												0	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等												0	
	ロ	イ以外の公衆浴場												0	
10		車両の停車場等												0	
11		神社・寺院・教会等												0	
12	イ	工場又は作業場	7	1										8	
	ロ	映画・テレビスタジオ												0	
13	イ	自動車車庫又は駐車場												0	
	ロ	飛行機格納庫												0	
14		倉庫	3	2										5	
15		事務所・銀行等	7	3										10	
16	イ	複合用途(特定防火対象物)	8	2		2					1			13	
	ロ	複合用途(イ以外のもの)	9		2	1								12	
16の2		地下街												0	
16の3		準地下街												0	
17		重要文化財建造物等												0	
合計			104	16	7	9	7	8	4	2	1	1	2	161	
市町村	東松山市		85	9	6	6	5	6	3	2	1	1	1	125	
	滑川町		4	1		1	1							7	
	嵐山町		4	2		1								7	
	小川町		8	1	1	1	1	2	1				1	16	
	吉見町		3	2										5	
	ときがわ町			1										1	
東秩父村													0		

市町村別危険物施設の現況

(令和4年4月1日現在)

市町村別		合 計	東 松 山 市	滑 川 町	嵐 山 町	小 川 町	吉 見 町	と き が わ 町	東 秩 父 村
施設別									
製 造 所		13	5	2	6				
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	127	34	25	20	12	18	15	3
	屋外タンク貯蔵所	46	19	14	2	5	3	1	2
	屋内タンク貯蔵所	7	2	2		1	2		
	地下タンク貯蔵所	142	59	17	15	24	14	13	
	簡易タンク貯蔵所	12	3	1	2	3	1	2	
	移動タンク貯蔵所	42	19	5		9	4	2	3
	屋 外 貯 蔵 所	23	2	13	1	2	2	3	
	小 計	399	138	77	40	56	44	36	8
取 扱 所	給 油								
	取扱所								
	営業用	49	22	3	6	7	6	3	2
	自家用	50	24	6	1	2	10	3	4
一 般 取 扱 所	92	33	17	8	13	14	7		
小 計	191	79	26	15	22	30	13	6	
合 計		603	222	105	61	78	74	49	14

指定数量別危険物製造所等施設数

(令和4年4月1日現在)

施設別		指定数量別	合 計	5倍	5倍	10倍	50倍	100倍	150倍	200倍	1千倍
				以下	を超え 10倍 以下	を超え 50倍 以下	を超え 100倍 以下	を超え 150倍 以下	を超え 200倍 以下	を超え 1千倍 以下	を超え るもの
製 造 所			13	1	2	5	1	1	1	2	
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		127	51	33	30	3	4	1	3	2
	屋外タンク貯蔵所		46	8	12	21	2		3		
	屋内タンク貯蔵所		7	3	4						
	地下タンク貯蔵所		142	60	29	34	7	5	2	5	
	簡易タンク貯蔵所		12	12							
	移動タンク貯蔵所		42	39		3					
	屋 外 貯 蔵 所		23	16	7						
	小 計		399	189	85	88	12	9	6	8	2
取 扱 所	給 油	営業用	49			1	5	4	7	32	
	取扱所	自家用	50	5	5	38	2				
	一 般 取 扱 所		92	31	29	27	5				
	小 計		191	36	34	66	12	4	7	32	0
合 計			603	226	121	159	25	14	14	42	2

防火管理者資格取得状況

種 別	令和 2 年度			令和 3 年度			累計総数		
	甲 種		乙種	甲 種		乙種	甲 種		乙種
	新規講習	再講習		新規講習	再講習		新規講習	再講習	
回 数	2	1	3	4	1	3	112	14	55
人 数	48	25	66	91	21	53	7,101	260	1,296

住宅防火モデル地区

(令和 3 年度)

場 所	地 区	世 帯 数
東 松 山 市	新宿町自治会、藤山自治会、白山松風台自治会	813
滑 川 町	第 1 3 区 六軒地区	843
嵐 山 町	遠山地区	40
小 川 町	中爪グリーンヒル	100
吉 見 町	江綱上区、江綱下区	131
ときがわ町	根際地区自治会	151
東 秩 父 村	川下区、川上区、萩平区、向堀区	175

幼年消防クラブ

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

場 所	団 体 名 称	児 童 数
東 松 山 市	桃 の 木 保 育 園	26
	若 草 保 育 園	29
	松 山 幼 稚 園	68
小 川 町	おがわ 幼 稚 園	57

火 災

令和3年度防火ポスター展

小川町長賞



小川町立小川小学校4年生 大木 綾心 さん

市 町 村 別 火 災 発 生 件 数

(令和3年1月～令和3年12月)

種別 市町村		合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	焼損床面積 (建物) m ²	損 害 額 (単位：千円)
東松山市	3年	26	12	1	4	9	865	70,118
	2年	20	11	1	3	5	622	84,574
	比較	6	1	0	1	4	243	-14,456
滑川町	3年	10	5		3	2	261	30,378
	2年	7	4		1	2	92	3,705
	比較	3	1	0	2	0	169	26,673
嵐山町	3年	5	2			3	48	2,590
	2年	5	1		1	3	33	921
	比較	0	1	0	-1	0	15	1,669
小川町	3年	6	4	1	1		257	15,711
	2年	8	7	1			182	19,383
	比較	-2	-3	0	1	0	75	-3,672
吉見町	3年	15	6		1	8	339	4,700
	2年	10	6		1	3	484	23,548
	比較	5	0	0	0	5	-145	-18,848
ときがわ町	3年	9	5	4			366	8,334
	2年	2	1			1	81	2,827
	比較	7	4	4	0	-1	285	5,507
東秩父村	3年	4	2		1	1	35	54
	2年	0					0	0
	比較	4	2	0	1	1	35	54
合 計	3年	75	36	6	10	23	2,171	131,885
	2年	52	30	2	6	14	1,494	134,958
	比較	23	6	4	4	9	677	-3,073

月 別 火 災 概 要 (管内総計)

(令和3年1月～令和3年12月)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	
出 火 件 数	建 物	5	3	5	5	3	1	3	4	2	3	1	1	36	
	林 野		4	1	1									6	
	車 両	3		1			1	1		1	1	2		10	
	そ の 他	2	6	5	1	4	1	1	1		1		1	23	
	合 計	10	13	12	7	7	3	5	5	3	5	3	2	75	
焼 損 棟 数	全 焼	8	3	2	4	1			5				4	27	
	半 焼	1		1					1					3	
	部 分 焼	3		2	6	1		2	3		1		2	20	
	ぼ や	3	1	2	3	1	1	2	5	2	2	1		23	
	合 計	15	4	7	13	3	1	4	14	2	3	1	6	73	
焼 損 面 積	建物 (㎡)	656	79	178	506	56			327		8		361	2,171	
	林野 (a)		32	6	1									39	
	車両 (台)	8	1	2	4	1	1	3	6	1	1	2		30	
死 傷 者	負 傷 者								1	1	3			5	
	死 者	2		1										3	
り 災 世 帯 数		8	1	7	3	1	1	3	5	1	2		3	35	
り 災 人 員		14	1	15	6	3	1	4	12	1	4		4	65	
損 害 額 (単 位 千 円)	建 物	建 物	53,426	769	11,078	16,794	2,577		229	5,140	62	787	6	4,556	95,424
		内容物	2,177	1,596	558	3,029	323		17	998	5	306		1,355	10,364
	林 野													0	
	車 両	9,243	9	2,105	682	172	40	2,300	2,596	500		154		17,801	
	そ の 他	28	229	52	5,959			77	221	1,660			70	8,296	
	合 計		64,874	2,603	13,793	26,464	3,072	40	2,623	8,955	2,227	1,093	160	5,981	131,885

市 町 村 月 別 火 災 概 要

(令和3年1月～令和3年12月)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	建 物	3			1		1	2	3	1	1			12
	林 野		1											1
	車 両	1					1			1	1			4
	そ の 他		3	1		2		1			1		1	9
	合 計	4	4	1	1	2	2	3	3	2	3	0	1	26
焼損棟数	全 焼	8							4					12
	半 焼	1												1
	部 分 焼	3						2	3					8
	ぼ や	1			1		1	1	1	1	1			7
	合 計	13	0	0	1	0	1	3	8	1	1	0	0	28
焼損面積	建物 (㎡)	656							209					865
	林野 (a)		5											5
	車両 (台)	4			1		1	2	6	1	1			16
死傷者	負 傷 者								1	1	1			3
	死 者	2												2
り災世帯数	7						1	2	1		1			12
り災人員	10						1	2	2		1			16
損害額 (単位千円)	建 物	53,081						228	1,663					54,972
	内 容 物	2,170			1,700			17	412	5	2			4,306
	林 野													0
	車 両	5,014			380		40	80	2,596	500				8,610
	そ の 他	2	200					77	221	1,660			70	2,230
	合 計	60,267	200	0	2,080	0	40	402	4,892	2,165	2	0	70	70,118

東松山市

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	建 物		1	1	1	1		1						5
	林 野													0
	車 両	1		1				1						3
	そ の 他			2										2
	合 計	1	1	4	1	1	0	2	0	0	0	0	0	10
焼損棟数	全 焼		1		3	1								5
	半 焼													0
	部 分 焼				2									2
	ぼ や			1				1						2
	合 計	0	1	1	5	1	0	1	0	0	0	0	0	9
焼損面積	建物 (㎡)		31		175	55								261
	林野 (a)													0
	車両 (台)	3		1				1						5
死傷者	負 傷 者													0
	死 者													0
り災世帯数		1	1	1				1						4
り災人員		1	2	2				2						7
損害額 (単位千円)	建 物		10	4	13,973	855		1						14,843
	内 容 物		20	160	596	313								1,089
	林 野													0
	車 両	4,229		2,000				2,220						8,449
	そ の 他	11	29	52	5,905									5,997
	合 計	4,240	59	2,216	20,474	1,168	0	2,221	0	0	0	0	0	30,378

滑川町

市 町 村 月 別 火 災 概 要

(令和3年1月～令和3年12月)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
嵐山町	出火件数	建 物		1							1			2	
		林 野													0
		車 両													0
		そ の 他			1		1	1							3
		合 計	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	5
焼損棟数	焼損棟数	全 焼		2										2	
		半 焼													0
		部 分 焼													0
		ぼ や										1			1
		合 計	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
焼損面積	焼損面積	建物 (㎡)		48										48	
		林野 (a)													0
		車両 (台)		1											1
死傷者	死傷者	負 傷 者												0	
		死 者													0
り災世帯数	り災世帯数													0	
り災人員	り災人員													0	
損害額 (単位千円)	建物	建 物		759										759	
		内 容 物		1,576							246				1,822
	林 野													0	
	車 両		9											9	
	そ の 他													0	
	合 計	0	2,344	0	0	0	0	0	0	0	246	0	0	2,590	

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
小川町	出火件数	建 物			1					1	1		1	4	
		林 野		1											1
		車 両											1		1
		そ の 他													0
		合 計	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	6
焼損棟数	焼損棟数	全 焼			1					1				2	
		半 焼			1					1					2
		部 分 焼			1										1
		ぼ や								4	1		1		6
		合 計	0	0	3	0	0	0	0	6	1	0	1	0	11
焼損面積	焼損面積	建物 (㎡)			139				118					257	
		林野 (a)		17										17	
		車両 (台)			1								1		2
死傷者	死傷者	負 傷 者												0	
		死 者			1										1
り災世帯数	り災世帯数			4					4	1				9	
り災人員	り災人員			8					10	1				19	
損害額 (単位千円)	建物	建 物			10,947				3,477	62		6		14,492	
		内 容 物			398				586						984
	林 野													0	
	車 両			105								130		235	
	そ の 他													0	
	合 計	0	0	11,450	0	0	0	0	4,063	62	0	136	0	15,711	

市 町 村 月 別 火 災 概 要

(令和3年1月～令和3年12月)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
吉見町	出火件数	建 物	2		1	2					1				6
		林 野													0
		車 両											1		1
		そ の 他	2	3	1		1			1					8
		合 計	4	3	2	2	1	0	0	1	0	1	1	0	15
	焼損棟数	全 焼				1									1
		半 焼													0
		部 分 焼				4					1				5
		ぼ や	2		1	1									4
		合 計	2	0	1	6	0	0	0	0	0	1	0	0	10
	焼損面積	建物 (㎡)				331						8			339
		林野 (a)													0
		車両 (台)				3							1		4
	死傷者	負傷者										2			2
		死者													0
り災世帯数	1		1	2							1			5	
り災人員	4		3	4							3			14	
損害額 (単位千円)	建 物	建 物	345		75	2,821					787			4,028	
		内容物	7			266					58			331	
	林 野													0	
	車 両				302							24		326	
	そ の 他	15												15	
	合 計	367	0	75	3,389	0	0	0	0	0	845	24	0	4,700	

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
ときがわ町	出火件数	建 物			1	1	2							1	5
		林 野		2	1	1									4
		車 両													0
		そ の 他													0
		合 計	0	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1	9
	焼損棟数	全 焼												4	4
		半 焼													0
		部 分 焼			1		1							2	4
		ぼ や				1	1								2
		合 計	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	6	10
	焼損面積	建物 (㎡)			4		1							361	366
		林野 (a)		10	6	1									17
		車両 (台)					1								1
	死傷者	負傷者													0
		死者													0
り災世帯数			1		1								3	5	
り災人員			2		3								4	9	
損害額 (単位千円)	建 物	建 物			52		1,722						4,556	6,330	
		内容物				467	10						1,355	1,832	
	林 野													0	
	車 両					172								172	
	そ の 他													0	
	合 計	0	0	52	467	1,904	0	0	0	0	0	0	5,911	8,334	

市 町 村 月 別 火 災 概 要

(令和3年1月～令和3年12月)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
東 秩 父 村	出火件数	建 物		1	1									2		
		林 野													0	
		車 両	1												1	
		そ の 他				1									1	
		合 計	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	焼損棟数	全 焼			1										1	
		半 焼													0	
		部 分 焼													0	
		ぼ や		1											1	
		合 計	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	焼損面積	建物 (㎡)			35										35	
		林野 (a)													0	
		車両 (台)	1												1	
	死傷者	負 傷 者													0	
		死 者													0	
	り 災 世 帯 数														0	
	り 災 人 員														0	
	損害額 (単位千円)	建 物	建 物													0
			内 容 物													0
		林 野													0	
車 両														0		
そ の 他					54										54	
合 計		0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	54		

出火原因別火災件数

(令和3年1月～令和3年12月)

原因別 市町村別	たばこ	こんろ	電配 灯電話等 の線	ストーブ	たき火	放火	放火の 疑い	火遊 び	そ の 他	不明・ 調査中	合 計
東松山市	3 (2)		1 (1)	1 (1)	2		4 (2)		11 (5)	4 (1)	26 (12)
滑川町		1 (1)	2	1 (1)	2 (1)				3 (1)	1 (1)	10 (5)
嵐山町	1				1	1			1 (1)	1 (1)	5 (2)
小川町			1 (1)				1		3 (2)	1 (1)	6 (4)
吉見町	1	1 (1)	2 (2)		3	2 (1)			3 (2)	3	15 (6)
ときがわ町		1 (1)			1	3			4 (4)		9 (5)
東秩父村									4 (2)		4 (2)
合 計	5 (2)	3 (3)	6 (4)	2 (2)	9 (1)	6 (1)	5 (2)	0 (0)	29 (17)	10 (4)	75 (36)

() は建物火災の件数

令和3年の主な火災

区分 月	発生場所	火災種別	焼損面積 (単位 m ²)	損害額 (単位 千円)	死者
1月	東松山市東平	建 物	44	3,814	1
1月	東松山市若松町	建 物	460	46,333	1
3月	小川町東小川	建 物	139	11,450	1
4月	滑川町福田	建 物	175	20,474	

(死者の発生した火災又は損害額2千万円以上の火災)

救急・救助

令和3年度防火ポスター展

吉見町長賞



吉見町立南小学校4年生 野本 莉央 さん

月 別 救 急 件 数

(令和3年1月～令和3年12月)

種 別 月 別		合 計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
			災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
1月	出動件数	697	4			27	6	2	121	2	7	456	72
	搬送人員	573	1			22	6	2	101	1	4	369	67
2月	出動件数	633	4			44	6		107	1	9	390	72
	搬送人員	494				39	6		84	1	4	298	62
3月	出動件数	704	6			48	16	3	109	5	11	429	77
	搬送人員	589				47	16	3	90	1	8	354	70
4月	出動件数	685	6		1	53	6	8	107	2	11	413	78
	搬送人員	565				53	6	8	92	2	5	335	64
5月	出動件数	672	2			28	7	4	117	2	9	420	83
	搬送人員	554				25	6	4	100		6	342	71
6月	出動件数	673	1			38	11	7	97	3	6	428	82
	搬送人員	558				34	11	7	81	2	3	362	58
7月	出動件数	826	4			49	15	6	126	3	10	507	106
	搬送人員	697				48	15	5	106	2	4	431	86
8月	出動件数	810	5		1	38	13	3	119	3	7	513	108
	搬送人員	682	2		1	32	12	3	99	2	4	437	90
9月	出動件数	644	3			42	12	2	98	4	4	397	82
	搬送人員	532				37	12	2	88	4	3	319	67
10月	出動件数	771	3			68	13	5	135	2	8	461	76
	搬送人員	647	2			67	12	5	122	1	4	380	54
11月	出動件数	771	1			55	8	7	130	2	14	440	114
	搬送人員	659				51	8	7	112	1	9	378	93
12月	出動件数	808	1			69	9	3	131	3	4	497	91
	搬送人員	697				63	8	3	116	3	1	422	81
合 計	出動件数	8,694	40	0	2	559	122	50	1,397	32	100	5,351	1,041
	搬送人員	7,247	5	0	1	518	118	49	1,191	20	55	4,427	863

市 町 村 別 救 急 出 動 件 数

(令和3年1月～令和3年12月)

種 別		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
市町村													
東松山市	3年	4,374	18			308	48	28	619	18	53	2,612	670
	2年	4,254	9		2	304	61	19	576	23	44	2,590	626
	比較	120	9	0	-2	4	-13	9	43	-5	9	22	44
滑川町	3年	756	4		1	54	14	6	139	5	8	476	49
	2年	674	3			60	7	6	119	2	3	446	28
	比較	82	1	0	1	-6	7	0	20	3	5	30	21
嵐山町	3年	849	2			54	11	3	158	4	14	544	59
	2年	803	2			62	17	1	127	4	6	534	50
	比較	46	0	0	0	-8	-6	2	31	0	8	10	9
小川町	3年	1,313	5			53	15	8	216	2	8	801	205
	2年	1,315	3		1	63	14	1	196		14	816	207
	比較	-2	2	0	-1	-10	1	7	20	2	-6	-15	-2
吉見町	3年	707	4			63	10	4	124	1	10	465	26
	2年	762	4			64	13	2	148	2	10	484	35
	比較	-55	0	0	0	-1	-3	2	-24	-1	0	-19	-9
ときがわ町	3年	551	4		1	19	21		110	2	6	359	29
	2年	549				40	16	1	104		7	367	14
	比較	2	4	0	1	-21	5	-1	6	2	-1	-8	15
東秩父村	3年	144	3			8	3	1	31		1	94	3
	2年	189				20	1		37		3	120	8
	比較	-45	3	0	0	-12	2	1	-6	0	-2	-26	-5
合 計	3年	8,694	40	0	2	559	122	50	1,397	32	100	5,351	1,041
	2年	8,546	21	0	3	613	129	30	1,307	31	87	5,357	968
	比較	148	19	0	-1	-54	-7	20	90	1	13	-6	73

救急隊員の行った応急処置状況

(令和3年1月～令和3年12月)

処置状況 種別	応対 急象 処人 置員	止 血	固 定	心 肺 蘇 生	気 道 確 保	器具を用いた	除 細 動	静脈(輸液)確 保	薬 剤 投 与	心 電 図	酸 素 吸 入	保 温	被 覆	そ の 他	合 計
						気道確保									
急病	4,427	34	37	213	284	112	32	200	99	2,853	1,135	2,404	41	16,033	23,477
交通	518	20	210	1	2	2		3	1	84	20	171	117	1,785	2,416
一般負傷	1,191	139	248	22	26	23		17	13	266	85	543	316	3,861	5,559
その他	1,111	27	57	16	27	9		9	6	406	322	631	64	3,593	5,167
合計	7,247	220	552	252	339	146	32	229	119	3,609	1,562	3,749	538	25,272	36,619

傷病程度別搬送人員

(令和3年1月～令和3年12月)

種別 程度別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死亡	1				1		11		10	162	2	187
重症				15	9		70	1	7	496	167	765
中等症	1		1	104	53	9	482	1	27	2,059	619	3,356
軽症	3			399	55	40	628	18	11	1,710	75	2,939
その他												0
合計	5	0	1	518	118	49	1,191	20	55	4,427	863	7,247

年齢・区分別搬送人員

(令和3年1月～令和3年12月)

種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新生児										5	11	16
乳幼児				15			63			111	16	205
少年			1	46	1	33	28		3	83	6	201
成人	1			307	94	16	205	15	39	1,269	250	2,196
高齢者	4			150	23		895	5	13	2,959	580	4,629
合計	5	0	1	518	118	49	1,191	20	55	4,427	863	7,247

時間別出動件数

(令和3年1月～令和3年12月)

種別 時間	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
0～2	347	3			9		1	48	4	5	256	21
2～4	265	3			10			38	1	5	199	9
4～6	331	1			20	2		39	1	5	251	12
6～8	559	2			41	5		88	1	5	405	12
8～10	1,114	1			69	22	5	201	3	9	706	98
10～12	1,118	7			72	29	11	192	2	6	599	200
12～14	1,055	7		1	63	19	13	173	6	10	542	221
14～16	973	3			82	17	10	171	1	10	513	166
16～18	884	5		1	77	15	6	143	2	9	491	135
18～20	914	6			74	7	2	135	3	17	566	104
20～22	650				29	3	2	107	4	8	468	29
22～24	484	2			13	3		62	4	11	355	34
合計	8,694	40	0	2	559	122	50	1,397	32	100	5,351	1,041

曜日別出動件数

(令和3年1月～令和3年12月)

種別 曜日	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月曜日	1,313	3			88	20		209	9	14	794	176
火曜日	1,223	3			73	20	5	206	3	16	752	145
水曜日	1,258	6			81	25	4	195	4	13	757	173
木曜日	1,241	5		1	79	17	4	172	4	20	796	143
金曜日	1,232	8		1	76	20	8	195	2	10	731	181
土曜日	1,240	9			71	12	5	223	4	17	759	140
日曜日	1,187	6			91	8	24	197	6	10	762	83
合計	8,694	40	0	2	559	122	50	1,397	32	100	5,351	1,041

病 院 別 搬 送 人 員

(令和3年1月～令和3年12月)

月 別 病 院 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
管 内 病 院													
埼玉成恵会病院	89	1	106	151	108	105	140	127	129	142	112	155	1,365
小川赤十字病院	87	73	72	65	63	87	108	95	70	77	85	96	978
東松山市立市民病院	54	46	46	40	41	54	56	63	43	76	76	77	672
東松山医師会病院	32	51	43	28	57	51	50	37	34	41	52	45	521
武蔵嵐山病院	12	13	15	9	10	14	10	18	20	18	18	13	170
シャローム病院	11	8	15	11	15	13	14	15	10	11	15	10	148
瀬川病院	9	6	6	4	5	4	7	3	3	4	10	11	72
大谷整形外科病院	2	17	9	6	1	5	4	6	4	6	4	7	71
宏仁会高坂醫院	4	2	1			1	2						10
森田クリニック	1		1	1	2		1	1		2			9
宏仁会小川病院	2	1				2	1	1		1		1	9
東松山病院						2		2		1			5
その他管内病院	2	2	5	2	4	2	2	6	4	2	1	1	33
小 計	305	220	319	317	306	340	395	374	317	381	373	416	4,063
管 外 病 院													
埼玉医科大学病院	51	44	60	52	52	43	75	62	44	58	64	53	658
埼玉医科大学 国際医療センター	39	48	50	36	39	24	32	47	24	30	50	70	489
行田総合病院	47	45	39	38	24	34	44	51	38	40	35	40	475
埼玉県立循環器・呼吸器 病 セ ン タ ー	32	50	38	36	37	44	34	20	34	47	54	37	463
埼玉医科大学 総合医療センター	31	20	24	31	36	25	30	36	17	30	24	37	341
深谷赤十字病院	9	6	10	17	11	12	20	16	10	10	15	10	146
関東脳神経外科病院	21	8	9	4	12	5	7	18	4	11	7	8	114
その他管外病院	38	53	40	34	37	31	60	58	44	40	37	26	498
小 計	268	274	270	248	248	218	302	308	215	266	286	281	3,184
合 計	573	494	589	565	554	558	697	682	532	647	659	697	7,247

関越自動車道救急出動状況

(令和3年1月～令和3年12月)

事故種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
交通			1	2	1	1	4		2	8	3	5	27
急病	2		1		2			3			2		10
一般負傷					2			1					3
その他			1			1	1		1				4
合計	2	0	3	2	5	2	5	4	3	8	5	5	44

事故種別出動件数及び救助人員

(令和3年1月～令和3年12月)

件数	事故種別	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機よ 械る 等事 に故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	そ の 他	合 計
		建物	建以 物外									
出動件数		22	10	32	1	1	1	57	1		61	186
活動件数		22	10	16			1	37	1		17	104
救助人員		7		18			1	25	1		12	64

事故種別発生場所別救助人員

(令和3年1月～令和3年12月)

発生場所		事故種別	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機よ 械る 等事 に故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	そ の 他	合 計
			建物	建以 物外									
屋内	住居		2						23				25
	その他の屋内		5					1					6
屋	道路	高速道路											0
		その他の道路			17								17
外	水面	内水面										1	1
		外水面											0
外	山岳											3	3
	その他の屋外			1				2	1			8	12
地下													0
その他													0
合計			7	0	18	0	0	1	25	1	0	12	64

救命講習実施状況

普通救命講習Ⅰ				令和3年1月～令和3年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	11月6日(土)	嵐山分署	8	4	12月11日(土)	吉見分署	7
2	12月4日(土)	小川消防署	10	5	12月12日(日)	旧西小学校体育館	15
3	12月4日(土)	吉見商工会	9	6	12月21日(火)	特別養護老人ホーム つきがわ	15
合計		実施 6回 64名 (東松山 2回・小川 4回)					

普通救命講習Ⅱ (実施なし)				令和3年1月～令和3年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
合計		実施 回 名 (東松山 回・小川 回)					

普通救命講習Ⅲ				令和3年1月～令和3年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	10月24日(日)	ときがわ分署	2				
合計		実施 1回 2名 (東松山 回・小川 1回)					

上級救命講習				令和3年1月～令和3年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	11月27日(土)	小川消防署	7				
合計		実施 1回 7名 (東松山 回・小川 1回)					

救命入門コース				令和3年1月～令和3年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	11月7日(日)	東秩父分署	11	2	11月10日(水)	東松山シルバー人材センター	14
合計		実施 2回 25名 (東松山 1回・小川 1回)					

救命入門コース (45分)				令和3年1月～令和3年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	10月29日(金)	ひがしまつやま寿苑	40	5	12月2日(木)	梨花	12
2	11月22日(月)	平和資料館	13	6	12月4日(土)	明覚小学校	25
3	11月25日(木)	野本保育園	8	7	12月10日(金)	東松山市唐子市民 活動センター	23
4	12月1日(水)	梨花	13	8	12月16日(木)	(株)京葉	12
合計		実施 8回 146名 (東松山 6回・小川 2回)					

救命講習実施状況

令和3年計	普通救命講習Ⅰ	実施 6回	64名
	普通救命講習Ⅱ	実施 0回	0名
	普通救命講習Ⅲ	実施 1回	2名
	上級救命講習	実施 1回	7名
	救命入門コース	実施 2回	25名
	救命入門コース（45分）	実施 8回	146名

平成6年～令和3年累計	普通救命講習Ⅰ	実施 1,175回	21,588名
	普通救命講習Ⅱ	実施 58回	968名
	普通救命講習Ⅲ	実施 35回	341名
	上級救命講習	実施 95回	1,373名
	救命入門コース	実施 98回	2,083名
	救命入門コース（45分）	実施 305回	7,414名

- ※平成 6年 講習開始 普通救命講習Ⅰ 上級救命講習
- ※平成18年 講習開始 普通救命講習Ⅱ
- ※平成24年 講習開始 普通救命講習Ⅲ 救命入門コース
- ※平成28年 講習開始 救命入門コース（45分）

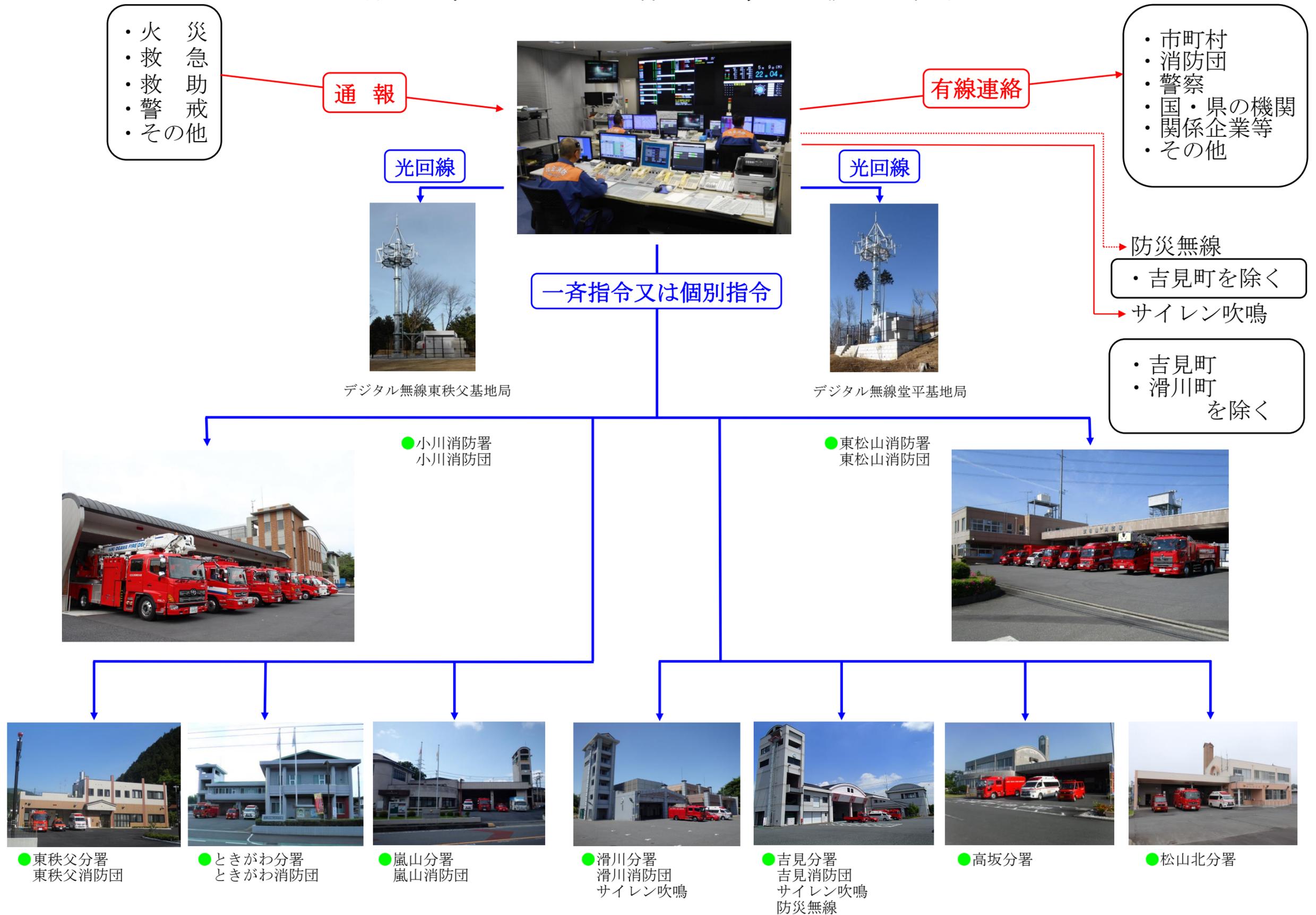
通信・気象

令和3年度防火ポスター展
ときがわ町長賞



ときがわ町立玉川小学校4年生 大澤 怜央 さん

消防通信系統図



消防用無線施設の状況

(令和4年4月1日現在)

基地局	周波数	出力	通信方式
ひきしょうぼう	統制波 ┌ 1ch ├ 2ch └ 3ch	基地局 堂平局 1 w 東秩父局 0.5 w	2波半複信方式
移動局数	主運用波	移動局 車載 5 w 可搬 5 w 携帯 1 w	
101局	活動波 ┌ 1ch ├ 2ch └ 3ch		

移動局

所属	番号	呼出名称	所属	番号	呼出名称	所属	番号	呼出名称	
消防本部	1	ひきよぼう 1	高坂分署	38	たかさか 1	小川消防署	75	おがわしき 1	
	2	ひきよぼう 2		39	たかさか 101		76	おがわしき 2	
	3	ひきしえん 1		40	たかさか 102		77	おがわしき 101	
	4	ひきしえん 101		41	たかさかれんらく 1		78	おがわきざい 1	
	5	ひきしょうぼう 101		42	たかさかきゅうきゅう 1		79	おがわきゅうきゅう 1	
東松山消防署	6	まつやま 1	吉見分署	43	たかさかきゅうきゅう 101	嵐山分署	80	おがわきゅうきゅう 101	
	7	まつやま 101		44	よしみ 1		81	おがわちようさ 1	
	8	まつやま 102		45	よしみ 101		82	おがわちようさ 101	
	9	まつやま 2		46	よしみ 102		83	らんざん 1	
	10	まつやま 201		47	よしみれんらく 1		84	らんざん 101	
	11	まつやま 202		48	よしみきざい 1		85	らんざん 102	
	12	まつやまきゅうじよ 1		49	よしみきゅうきゅう 1		86	らんざんれんらく 1	
	13	まつやまきゅうじよ 101		50	よしみきゅうきゅう 101		87	らんざんきゅうきゅう 1	
	14	まつやまきゅうじよ 102		滑川分署	51		なめがわ 1	88	らんざんきゅうきゅう 101
	15	まつやまはしご 1			52		なめがわ 101	ときがわ分署	89
16	まつやまはしご 101	53	なめがわ 102		90	ときがわ 101			
17	まつやまはしご 102	54	なめがわれんらく 1		91	ときがわ 102			
18	まつやますいそう 1	55	なめがわきゅうきゅう 1		92	ときがわれんらく 1			
19	まつやますいそう 101	56	なめがわきゅうきゅう 101		93	ときがわきゅうきゅう 1			
20	まつやますいそう 102	小川消防署	57		おがわ 1	94	ときがわきゅうきゅう 101		
21	まつやましれい 1		58		おがわ 101	東秩父分署	95		ひがしちちぶ 1
22	まつやましれい 2		59		おがわ 102		96		ひがしちちぶ 101
23	まつやましれい 101		60		おがわ 2		97		ひがしちちぶ 102
24	まつやましき 1		61	おがわ 201	98		ひがしちちぶれんらく 1		
25	まつやましき 2		62	おがわ 202	99		ひがしちちぶきゅうきゅう 1		
26	まつやましき 101		63	おがわきゅうじよ 1	100		ひがしちちぶきゅうきゅう 101		
27	まつやまきざい 1		予備	64	おがわきゅうじよ 101		101	まつやまきゅうきゅう 2	
28	まつやまきゅうきゅう 1			65	おがわきゅうじよ 102				
29	まつやまきゅうきゅう 101			66	おがわはしご 1				
30	まつやまちようさ 1	67		おがわはしご 101					
31	まつやまちようさ 101	68		おがわはしご 102					
松山北分署	32	まつやまきた 1		69	おがわすいそう 1				
	33	まつやまきた 101		70	おがわすいそう 101				
	34	まつやまきた 102		71	おがわすいそう 102				
	35	まつやまきたれんらく 1		72	おがわしれい 1				
	36	まつやまきたきゅうきゅう 1		73	おがわしれい 2				
	37	まつやまきたきゅうきゅう 101	74	おがわしれい 101					

119番受信状況

(令和3年1月～令和3年12月)

月別	区分	合計	災害通報				問い合わせ	間違い	いたずら	試験	通報訓練	その他	転送
			火災	救急	救助	その他							
1月	固定電話	229		150	1	2	5	4	9	32	5	20	1
	携帯電話	390	6	248	3	6	21	20		1	2	65	18
	I P 電話	279	2	235		1	5	2		3	13	18	
2月	固定電話	184	2	130	2		6	6		11	13	14	
	携帯電話	381	6	243	5	3	24	10	2		10	65	13
	I P 電話	248		196		1	7	4			23	15	2
3月	固定電話	235	4	134		3	1	3		39	26	24	1
	携帯電話	409	7	263	3	8	16	18			9	73	12
	I P 電話	311	2	241		1	3	6		1	39	18	
4月	固定電話	229	1	127	1	5	1	4		40	23	26	1
	携帯電話	405	4	268	5	3	13	21		2	3	78	8
	I P 電話	243	2	208		1	3	3		1	16	9	
5月	固定電話	199	1	137			7	6		20	13	15	
	携帯電話	410	2	265	4	7	13	24		7	7	65	16
	I P 電話	235	1	199			3	5		1	17	8	1
6月	固定電話	216		116	1	1	14	5	7	34	15	22	1
	携帯電話	412	2	272	5	4	15	28		3	4	72	7
	I P 電話	279		220	1	1	9	9		1	20	17	1
7月	固定電話	247		171	1	1	3	9		33	11	18	
	携帯電話	513	2	329	2	7	20	31		7	6	89	20
	I P 電話	299		246	1	3	5	7		2	18	16	1
8月	固定電話	247	2	163	3	1	9	7	1	15	8	38	
	携帯電話	492	3	331	3	6	21	29		5	1	70	23
	I P 電話	277	1	241			4	6		1	4	20	
9月	固定電話	176		117		3	2	3		14	22	14	1
	携帯電話	404	1	271	2	5	20	22		4	10	59	10
	I P 電話	249		198	1		3	5		1	33	7	1
10月	固定電話	227	1	127				6		36	37	20	
	携帯電話	458	1	313	2	8	18	33		4	4	63	12
	I P 電話	281	1	238		3	2	3		1	24	9	

119番受信状況

(令和3年1月～令和3年12月)

月別	区分	合計	災害通報				問い合わせ	間違い	いたずら	試験	通報訓練	その他	転送
			火災	救急	救助	その他							
11月	固定電話	237	1	140	4	2	3	7	1	22	39	17	1
	携帯電話	472		297	7	8	16	29	10	2	26	67	10
	I P 電話	351		250		1	5	3		7	74	11	
12月	固定電話	206		138			2	6		27	17	15	1
	携帯電話	483	2	346	2	4	27	28	1		10	50	13
	I P 電話	302	1	251			8	3		1	28	10	
合計	固定電話	2,632	12	1,650	13	18	53	66	18	323	229	243	7
	携帯電話	5,229	36	3,446	43	69	224	293	13	35	92	816	162
	I P 電話	3,354	10	2,723	3	12	57	56	0	20	309	158	6
月平均	固定電話	219.3	1.0	137.5	1.1	1.5	4.4	5.5	1.5	26.9	19.1	20.3	0.6
	携帯電話	435.8	3.0	287.2	3.6	5.8	18.7	24.4	1.1	2.9	7.7	68.0	13.5
	I P 電話	279.5	0.8	226.9	0.3	1.0	4.8	4.7	0.0	1.7	25.8	13.2	0.5

NET 119緊急通報システム受信状況

(令和3年1月～令和3年12月)

月別	区分	合計	災害通報				問い合わせ	間違い	いたずら	試験	通報訓練	その他	転送
			火災	救急	救助	その他							
1月		3							3				
2月		4							4				
3月		3							3				
4月		8		1					7				
5月		9							9				
6月		10					1		9				
7月		5							5				
8月		5							5				
9月		2							2				
10月		1							1				
11月		0											
12月		3							3				
合計		53	0	1	0	0	0	1	0	51	0	0	0

関越自動車道専用受信状況

(令和3年1月～令和3年12月)

区分 月別	合 計	災 害 通 報				問 い 合 わ せ	間 違 い	い た ず ら	試 験	通 報 訓 練	そ の 他	転 送	管 外
		火 災	救 急	救 助	そ の 他								
1 月	1				1								
2 月	1	1											
3 月	1		1										
4 月	0												
5 月	0												
6 月	0												
7 月	2	1	1										
8 月	0												
9 月	1		1										
10 月	2		2										
11 月	0												
12 月	2		1	1									
合 計	10	2	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

シルバー専用受信状況（緊急通報システム）

(令和3年1月～令和3年12月)

区分 月別	合 計	災 害 通 報				問 い 合 わ せ	間 違 い	い た ず ら	試 験	通 報 訓 練	そ の 他	転 送
		火 災	救 急	救 助	そ の 他							
1 月	107		13				8	80		6		
2 月	29		5				8	5		11		
3 月	38		6				3	21		8		
4 月	27		12				2	5	2	6		
5 月	25		12				6	4		3		
6 月	29		12	2			3	12				
7 月	28		8				2	14		4		
8 月	18		10				3			5		
9 月	13		5				2	4		2		
10 月	17		9				1	4		3		
11 月	25		11				1	11		2		
12 月	25		10				6	4		5		
合 計	381	0	113	2	0	0	45	164	2	55	0	

管内市町村別シルバー登録者数

(令和4年4月1日現在)

東 松 山 市	510
滑 川 町	44
嵐 山 町	49
小 川 町	127
吉 見 町	128
と き が わ 町	23
東 秩 父 村	55
合 計	936

受信別状況(119番通報を除く)

(令和3年1月～令和3年12月)

区分 月別	合 計	一 般 加 入				警 察 専 用 線				駆 け 付 け				自 己 覚 知			
		火 災	救 急	救 助	そ の 他	火 災	救 急	救 助	そ の 他	火 災	救 急	救 助	そ の 他	火 災	救 急	救 助	そ の 他
1月	58	2	7		3		27	4	5	1	4			1	1		3
2月	60	1	11		3		27	5	2		2			3	5		1
3月	64	1	6		4		29	4	6		3			1	7		3
4月	62		9	1	2		26	8	5		7				2		2
5月	62	1	13		2	1	26	3	5		7			2	2		
6月	50		6		6		22	7	1		6				1		1
7月	85	2	5		12	1	42	5	5		5	1		1	5		1
8月	67		10	1	2		32	8	7		2				3	1	1
9月	58		9		4		28	5	4		3			2	2	1	
10月	86	1	12	1	1	2	36	7	5		7				10	2	2
11月	78	1	7	1	4	1	42	7	7		3			1	3		1
12月	67		8	2	3		36	7	3		4				3	1	
合 計	797	9	103	6	46	5	373	70	55	1	53	1	0	11	44	5	15

気象の注意報・警報の受理状況

(令和3年1月～令和3年12月)

種別 月別	合 計	強 風	暴 風	乾 燥	大 雨		洪 水		雷	濃 霧	霜	大 雪		着 雪	風 雪	低 温
		注 意 報	警 報	注 意 報	注 意 報	警 報	注 意 報	警 報	注 意 報	注 意 報	注 意 報	注 意 報	警 報	注 意 報	注 意 報	注 意 報
1月	12	2		4						3		1				2
2月	12	9		2					1							
3月	25	8		6					5	1	5					
4月	32	6		5	1				6		14					
5月	20	1		2	1				7	8	1					
6月	14				3				8	3						
7月	30				7		4		12	7						
8月	24	1			2				16	5						
9月	9				1				7	1						
10月	14	2							4	8						
11月	7	1		1					2	3						
12月	14	7		3						4						
合 計	213	37	0	23	15	0	4	0	68	43	20	1	0	0	0	2

※東松山市に発令された注意報及び警報を記載。

消 防 団

令和3年度防火ポスター展
東秩父村長賞



東秩父村立槻川小学校4年生 保泉 那 さん

比企広域市町村圏組合消防団の沿革

平成4年		
4月	1日	東松山・小川両消防組合が統合し、比企広域市町村圏組合消防団として（定員、東松山消防団93名、滑川消防団41名、嵐山消防団93名、小川消防団127名、都幾川消防団135名、玉川消防団70名、吉見消防団85名、東秩父消防団121名、計765名）設置した。
	〃	東松山消防団長に山岸喜男氏が就任する。
	〃	滑川消防団長に石川地彦氏が就任する。
	〃	嵐山消防団長に栗原昌次氏が就任する。
	〃	小川消防団長に野沢恒雄氏が就任する。
	〃	都幾川消防団長に山崎茂氏が就任する。
	〃	玉川消防団長に関口定男氏が就任する。
	〃	吉見消防団長に神田新一郎氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に旭淑男氏が就任する。
9月	19日	小川消防団（第1分団第2部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備した。
10月	1日	滑川消防団長に鈴木理之氏が就任する。
平成5年		
1月	31日	吉見消防団（第1分団第2部）機械器具置場を改築する。
4月	1日	玉川消防団長に前田進一氏が就任する。
10月	12日	嵐山消防団（第1分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	小川消防団（第2分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
平成6年		
3月	31日	吉見消防団（第1分団第3部）機械器具置場を改築する。
4月	1日	東松山消防団長に加藤敏夫氏が就任する。
	〃	小川消防団長に森昭幸氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に山崎良雄氏が就任する。
11月	16日	吉見消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	滑川消防団（第2分団）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
11月	25日	嵐山消防団（第1分団第2部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備した。
11月	30日	嵐山消防団（第1分団第2部）機械器具置場を移転新築する。
12月	9日	都幾川消防団（第2分団第4部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
平成7年		
3月	31日	吉見消防団（第2分団第2部）機械器具置場を移転新築する。
4月	1日	東松山消防団長に中島俊夫氏が就任する。
	〃	嵐山消防団長に横瀬秀男氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

		の一部を改正する。消防団員の定数765名を745名に改めた。 (都幾川消防団員定数135名を115名に改めた。)
	7月21日	東松山消防団(本部)に、指揮車(日産 バネットバン)を更新配備した。
	10月16日	小川消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	〃	吉見消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	11月4日	都幾川消防団(第1分団第1部)機械器具置場を木造2階建てに改築する。
	11月7日	都幾川消防団(第1分団第1部)に、水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)を更新配備した。
	11月9日	玉川消防団(第3分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成8年		
	3月6日	吉見消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
	3月31日	吉見消防団(第1分団第1部)機械器具置場を移転新築する。
	4月1日	東秩父消防団長に田中秀雄氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正する。 (東松山消防団本部長の階級を分団長に改めた。)
	10月18日	東秩父消防団(第1分団第3部)に、水槽車(3t)小型動力ポンプ付を更新配備した。
	10月29日	都幾川消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	〃	吉見消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	11月1日	東松山消防団(第4分団、第5分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成9年		
	4月1日	玉川消防団長に山口文明氏が就任する。
	5月2日	嵐山消防団(第2分団第2部)機械器具置場を移転新築する。
	10月7日	東松山消防団(第3分団、第6分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	10月22日	都幾川消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	〃	吉見消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	10月28日	玉川消防団(第2分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成10年		
	3月7日	東秩父消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
	3月31日	都幾川消防団(第1分団第2部)機械器具置場を移転新築する。
	4月1日	東松山消防団長に嶋野憲治氏が就任する。
	〃	都幾川消防団長に渡辺一美氏が就任する。
	9月19日	東秩父消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(小型動力ポンプ

		積載)を(財)日本消防協会より寄贈され配備した。
10月25日		東松山消防団(第1分団、第2分団)に、水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)を更新配備した。
11月1日		玉川消防団(第1分団)に、水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型・高圧ポンプ付)を更新配備した。
11月14日		東松山消防団(第2分団)機械器具置場を改築する。
11月19日		東秩父消防団(第2分団第3部)に、水槽車(小型動力ポンプ積載)を更新配備した。
12月25日		玉川消防団(第1分団)機械器具置場を移転新築する。
平成11年		
	3月5日	滑川消防団、嵐山消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
	4月1日	嵐山消防団長に吉場道雄氏が就任する。
	10月13日	吉見消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	10月27日	小川消防団(第2分団第4部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成12年		
	2月9日	東松山消防団、日本消防協会表彰竿頭綬を受章する。
	4月1日	小川消防団長に福島貞夫氏が就任する。
	〃	吉見消防団長に秋庭雅之氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に市田勝氏が就任する。
	7月31日	嵐山消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	〃	都幾川消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	10月24日	小川消防団(第1分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成13年		
	10月19日	吉見消防団(第2分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	10月31日	滑川消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成14年		
	3月17日	滑川消防団(第1分団第1部)機械器具置場を移転新築する。
	4月1日	比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数745名を735名に改めた。 (都幾川消防団員定数115名を105名に改めた。)
	〃	東松山消防団長に福田秀一氏が就任する。
	〃	滑川消防団長に小高俊男氏が就任する。
	〃	都幾川消防団長に小室敏夫氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に渡辺均氏が就任する。
	8月21日	東松山消防団第22回埼玉県操法大会に出場し3位入賞する。
	10月21日	東松山消防団(第3分団)機械器具置場を新築移転する。

11月8日	小川消防団（第1分団第4部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
平成15年	
2月27日	玉川消防団（第2分団）機械器具置場を木造2階建てに改築する。
3月6日	滑川消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
4月1日	比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数735名を743名に改めた。 （東松山消防団員定数93名を101名に改めた。）
〃	嵐山消防団長に吉野一男氏が就任する。
〃	玉川消防団長に堀口一敏氏が就任する。
〃	東松山消防団に女性消防団員10名を採用する。
〃	都幾川消防団に女性消防団員2名を採用する。
10月24日	東秩父消防団（第2分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
平成16年	
4月1日	比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数743名を731名に改めた。 （東秩父消防団員定数を121名から109名に改めた。）
〃	埼玉県消防協会松山支部長に東松山消防団長福田秀一氏が就任する。
〃	埼玉県消防協会小川支部長に都幾川消防団長小室敏夫氏が就任する。
〃	吉見消防団長に長澤祥一氏が就任する。
〃	小川消防団長に金子敏氏が就任する。
〃	東秩父消防団長に福島重次氏が就任する。
〃	東秩父消防団に女性消防団員3名を採用する。
12月24日	東秩父消防団（第2分団第4部）に、水槽車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
平成17年	
4月1日	埼玉県消防協会松山支部と埼玉県消防協会小川支部が合併し埼玉県消防協会比企支部が発足する。支部長に都幾川消防団長の小室敏夫氏が就任する。
〃	小川消防団長に高倉俊明氏が就任する。
〃	玉川消防団長に小島浩氏が就任する。
9月22日	東秩父消防団（第1分団第1部、第1分団第2部）に、消防ポンプ自動車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
平成18年	
4月1日	都幾川消防団と玉川消防団が統合し、ときがわ消防団が発足する。
〃	ときがわ消防団長に小室敏夫氏が就任する。
〃	東秩父消防団長に奈良慎一郎氏が就任する。
〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数731名を744名に改めた。 （滑川消防団員定数を41名から54名に改めた。）
7月19日	東松山消防団（団本部）に、広報車（トヨタ ライトエース）を更新配備した。
平成19年	
4月1日	ときがわ消防団長に小島浩氏が就任する。

	〃	埼玉県消防協会比企支部長に東松山消防団長福田秀一氏が就任する。
10月18日		嵐山消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	小川消防団（第2分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	ときがわ消防団（第3分団第3部）に、消防ポンプ自動車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
平成20年		
4月1日		吉見消防団長に福田豊氏が就任する。
	〃	ときがわ消防団長に岡野友幸氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に富田兼司氏が就任する。
8月1日		比企広域市町村圏組合消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正する。滑川消防団副団長1名を2名に改め、第2分団に1部を増部し、第2分団第1部及び第2分団第2部を配置する。
10月1日		滑川消防団第2分団第2部、滑川町大字月輪地内に機械器具置場を新築する。
	〃	滑川消防団（第2分団第2部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	ときがわ消防団（第3分団第2部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	東秩父消防団（第1分団第2部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
11月1日		東松山消防団長に松本洋一氏が就任する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に滑川消防団長小高俊男氏が就任する。
平成21年		
1月23日		東秩父消防団（第1分団第1部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型）を更新配備した。
8月11日		ときがわ消防団（団本部）に、広報車（トヨタ ノア）を配備した。
10月8日		吉見消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
10月20日		嵐山消防団（第2分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
11月7日		東松山消防団第6分団、東松山市大字下野本地内に機械器具置場を新築する。
11月30日		小川消防団（第2分団第2部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型）を更新配備した。
平成22年		
3月17日		東秩父消防団（第2分団第2部）に、消防庁無償貸付車両（小型動力ポンプ積載車救助資機材搭載）を更新配備した。
3月23日		小川消防団（第1分団第2部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型）を更新配備した。
3月25日		小川消防団第2分団第3部、小川町大字青山地内に機械器具置場を新築移転する。
4月1日		嵐山消防団長に長島登氏が就任する。
	〃	小川消防団長に石川雅昭氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の

		一部を改正する。 (ときがわ消防団第3分団を4部体制から2部体制に改めた。)
10月12日		吉見消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成23年		
3月3日		小川消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
3月26日		東松山消防団第1分団、東松山市大字松山地内に機械器具置場を新築移転する。
平成24年		
1月27日		嵐山消防団第1分団第1部、嵐山町大字菅谷地内に機械器具置場を新築移転する。
1月29日		東松山消防団第5分団、東松山市大字高坂地内に機械器具置場を新築移転する。
3月5日		東松山消防団(第4分団、第5分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
3月8日		吉見消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
4月1日		吉見消防団長に蓮見弘氏が就任する。
〃		滑川消防団長に井上章氏が就任する。
〃		ときがわ消防団長に杉田健司氏が就任する。
〃		東秩父消防団長に関根正明氏が就任する。
〃		比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数744名を745名に改めた。 (滑川消防団員定数を54名から55名に改めた。)
〃		小川消防団に女性消防団員8名を採用する。
〃		埼玉県消防協会比企支部長に小川消防団長石川雅昭氏が就任する。
10月9日		滑川消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成25年		
3月4日		ときがわ消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
3月6日		ときがわ消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
3月12日		吉見消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
3月15日		小川消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
3月21日		東松山消防団(第3分団、第6分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
3月27日		嵐山消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
4月1日		比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数745名を755名に改めた。 (吉見消防団員定数を85名から95名に改めた。)
〃		吉見消防団に女性消防団員3名を採用する。

10月31日	ときがわ消防団（第2分団第1部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備した。
12月13日	東秩父消防団に、消防団旗を更新した。
平成26年	
3月14日	嵐山消防団（第1分団第2部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備した。
3月18日	東松山消防団（第1分団）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備した。
4月1日	東松山消防団長に新井芳信氏が就任する。
〃	嵐山消防団長に田嶋健司氏が就任する。
〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数755名を725名に改めた。 （ときがわ消防団員定数を175名から145名に改めた。）
〃	比企広域市町村圏組合消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正する。 （小川消防団本部に団員8名を置き、分団各部の団員を11名に改め、東秩父消防団第2分団を4部体制から3部体制に改めた。）
12月11日	小川消防団（団本部）に、広報車（ホンダ ステップワゴン）を更新配備した。
平成27年	
1月26日	東松山消防団（第2分団）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備した。
2月21日	小川消防団第2分団第4部、小川町大字木部地内に機械器具置場を新築移転する。
2月23日	吉見消防団、消防庁消防団等地域活動表彰を受章する。
3月10日	ときがわ消防団（第1分団第2部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
3月13日	吉見消防団（第1分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
3月19日	東秩父消防団（第1分団第3部）に、水槽車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
7月1日	滑川消防団第2分団第1部、滑川町大字羽尾地内（旧滑川分署）に機械器具置場を移転する。
9月30日	小川消防団（第1分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
10月13日	ときがわ消防団（第2分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
平成28年	
1月21日	東松山消防団第4分団、東松山市大字下唐子地内に機械器具置場を新築移転する。
3月9日	吉見消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
〃	東松山消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
4月1日	小川消防団長に島野雄二氏が就任する。
〃	東秩父消防団長に高田吉広氏が就任する。
〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例

		の一部を改正する。消防団員の定数725名を740名に改めた。 (滑川消防団員定数を55名から60名、嵐山消防団員定数を93名から100名、小川消防団員定数を127名から130名に改めた。)
	〃	滑川消防団に女性消防団員5名を採用する。
	〃	嵐山消防団に女性消防団員6名を採用する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に吉見消防団長蓮見弘氏が就任する。
平成29年	12月13日	東秩父消防団(第2分団第3部)に、水槽車(小型動力ポンプ積載)を更新配備した。
	3月13日	吉見消防団(第2分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	3月22日	ときがわ消防団(第1分団第1部)に、水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)を更新配備した。
	4月1日	小川消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員2名を採用する。
	〃	吉見消防団に女性消防団員3名を採用する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員2名を採用する。
平成30年	2月1日	ときがわ消防団長に小澤伸吉氏が就任する。
	3月7日	東秩父消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
	4月1日	嵐山消防団長に千野晃男氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数740名を725名に改めた。 (ときがわ消防団員定数を145名から130名に改めた。)
	〃	ときがわ消防団第3分団第1部と第3分団第2部を統合し第3分団とする。
	〃	滑川消防団に女性消防団員3名を採用する。
	〃	嵐山消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に東松山消防団長新井芳信氏が就任する。
	6月1日	小川消防団に女性消防団員1名を採用する。
平成31年	3月2日	小川消防団(第2分団第4部)に、消防庁無償貸付車両(救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 CD-I型)を更新配備した。
	3月6日	滑川消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
	3月24日	ときがわ消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	4月1日	吉見消防団長に脇谷仁志氏が就任する。
	〃	嵐山消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員1名を採用する。
令和元年	10月10日	嵐山消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	10月21日	滑川消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新

		配備した。
令和2年		
	2月10日	東松山消防団、国土交通大臣水防功労章を受章する。
	2月29日	東秩父消防団（第2分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	3月4日	嵐山消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
	3月9日	東松山消防団、防災功労者消防庁長官表彰を受章する。
	〃	ときがわ消防団、防災功労者消防庁長官表彰を受章する。
	4月1日	小川消防団長に小山立司氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に馬場一裕氏が就任する。
	〃	嵐山消防団に女性消防団員2名を採用する。
	〃	小川消防団に女性消防団員3名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に滑川消防団長井上章氏が就任する。
	9月1日	東松山消防団、防災功労者内閣総理大臣表彰を受章する。
	〃	ときがわ消防団、防災功労者内閣総理大臣表彰を受章する。
	10月14日	小川消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	12月6日	小川消防団第1分団第4部、小川町大字上横田地内に機械器具置場を新築移転する。
令和3年		
	1月28日	滑川消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	4月1日	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数725名を770名に改めた。 （嵐山消防団員定数を100名から110名に改めた。） （吉見消防団員定数を95名から115名に改めた。） （ときがわ消防団員定数を130名から145名に改めた。）
	〃	嵐山消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	吉見消防団に女性消防団員3名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員2名を採用する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員3名を採用する。
	〃	嵐山消防団、吉見消防団及びときがわ消防団は機能別消防団員制度を導入する。
令和4年		
	3月2日	小川消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
	3月6日	嵐山消防団、第1分団第3部、嵐山町大字鎌形地内に機械器具置場を新築移転する。
	〃	東秩父消防団（第2分団第3部）に、水槽車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
	4月1日	滑川消防団長に小林紀夫氏が就任する。
	〃	ときがわ消防団長に馬場修平氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に豊田健氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例

の一部を改正する。消防団員の定数770名を780名に改めた。
(東秩父消防団員定数を109名から119名に改めた。)

- 〃 東秩父消防団は機能別消防団員制度を導入する。
- 〃 東松山消防団に女性消防団員2名を採用する。
- 〃 小川消防団に女性消防団員1名を採用する。
- 〃 ときがわ消防団に女性消防団員1名を採用する。
- 〃 埼玉県消防協会比企支部長に吉見消防団長脇谷仁志氏が就任する。

消 防 団 員 配 置 状 況

(令和4年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員			
東 松 山 消 防 団	団 本 部	1	2	1		1	1	8	合 計		
	第 1 分 団			1		1	2	8			
	第 2 分 団			1		2	6				
	第 3 分 団			1		2	4				
	第 4 分 団			1		2	4				
	第 5 分 団			1		2	9				
	第 6 分 団			1		2	9				
	[1 0 1] 計			1		2	7	0		7	13
滑 川 消 防 団	団 本 部	1	2					5	合 計		
	第1分団第1部			1	1	1	1	10			
	第1分団第2部			1	1	1	1	10			
	第2分団第1部			1	1	1	1	10			
	第2分団第2部			1	1	1	1	10			
	[6 0] 計			1	2	2	2	4		4	45
嵐 山 消 防 団	団 本 部	1	2			10		7	合 計		
	機能別消防団員							8			
	第1分団第1部			1	2	1	2	1		2	12
	第1分団第2部			1	2	1	2	1		2	11
	第1分団第3部			1	2	1	2	1		2	11
	第2分団第1部			1	1	1	1	1		2	11
	第2分団第2部			1	1	1	1	1		2	11
	[1 1 0] 計			1	2	2	3	15		10	71
小 川 消 防 団	団 本 部	1	2			1		9	合 計		
	第1分団第1部					1	2	10			
	第1分団第2部			1	1	1	2	9			
	第1分団第3部			1	1	1	2	11			
	第1分団第4部			1	2	1	2	10			
	第2分団第1部			1	1	1	2	10			
	第2分団第2部			1	1	1	2	11			
	第2分団第3部			1	1	1	2	9			
	第2分団第4部			1	1	1	2	10			
	[1 3 0] 計			1	2	2	2	9		16	89

[]内は、条例定員数、()内の人員は、再掲人員を示す。

消 防 団 員 配 置 状 況

(令和4年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員					
吉 見 消 防 団	団 本 部			(2)	(2)	1		4	合 計				
	機能別消防団員							10					
	第1分団第1部	1	2			1	2	9					
	第1分団第2部					1	1	1		2	8		
	第1分団第3部					1	2	1		2	9		
	第2分団第1部			1	1	1	2	9					
	第2分団第2部					1	2	10					
	第2分団第3部					1	2	10					
[1 1 5] 計	1					2	(2) 2	(2) 2	7	12	69	95	
と き が わ 消 防 団	団 本 部			1	2	1	2	5	1	7	合 計		
	機能別消防団員								8				
	第1分団第1部	1	2					1	2	8			
	第1分団第2部							1	2	1		2	10
	第1分団第3部							1	2	1		2	8
	第2分団第1部	1	2					1	2	10			
	第2分団第2部							1	2	1		2	10
	第2分団第3部							1	2	1		2	9
第3分団	1			2	1			2	9				
[1 4 5] 計	1	2	4	8	12	15	79	121					
東 秩 父 消 防 団	団 本 部	1	2	1		3		7	合 計				
	機能別消防団員									8			
	第1分団第1部			1	2	1	2	1		2	15		
	第1分団第2部							1		2	1	2	13
	第1分団第3部							1		1	1	1	7
	第2分団第1部			1	2			1		2	11		
	第2分団第2部							1		2	1	1	9
	第2分団第3部							1		2	1	2	12
[1 1 9] 計	1	2	3					4	9	10	82	111	
[7 8 0] 合 計		7	14	22	21	63	80	483	690				

[]内は、条例定員数、()内の人員は、再掲人員を示す。

消 防 団 員 勤 続 年 数

(令和4年4月1日現在)

階級別 団別		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
		1	2	7		7	13	48	78
東 松 山 消 防 団	団員数	1	2	7		7	13	48	78
	5年未満							9	9
	5年以上10年未満							17	17
	10年以上15年未満			1		1	1	11	14
	15年以上20年未満			1		1	7	9	18
	20年以上25年未満			1		2	3	2	8
	25年以上30年未満			1		2	2		5
	30年以上	1	2	3		1			7
	平均勤続	45.0	41.0	25.4	0.0	22.6	18.8	9.4	14.8
滑 川 消 防 団	団員数	1	2	2	2	4	4	45	60
	5年未満							15	15
	5年以上10年未満							14	14
	10年以上15年未満						2	13	15
	15年以上20年未満				1	2	2	3	8
	20年以上25年未満				1	2			3
	25年以上30年未満		1	2					3
	30年以上	1	1						2
	平均勤続	33.0	30.0	26.0	20.0	18.3	15.8	7.6	11.1
嵐 山 消 防 団	団員数	1	2	2	3	15	10	63	96
	5年未満							24	24
	5年以上10年未満						6	15	21
	10年以上15年未満					9	4	8	21
	15年以上20年未満			2	3	5		8	18
	20年以上25年未満		2			1		8	11
	25年以上30年未満	1							1
	30年以上								0
	平均勤続	28.0	21.0	18.5	17.3	14.1	9.6	8.6	10.5
小 川 消 防 団	団員数	1	2	2	2	9	16	89	121
	5年未満							31	31
	5年以上10年未満						3	35	38
	10年以上15年未満					3	6	16	25
	15年以上20年未満			1	1	4	4	7	17
	20年以上25年未満					2	3		5
	25年以上30年未満		1	1	1				3
	30年以上	1	1						2
	平均勤続	37.0	32.5	22.0	21.5	16.4	14.1	6.8	9.6

※機能別団員は人数に含まない。

消 防 団 員 勤 続 年 数

(令和4年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
		吉 見 消 防 団	団 員 数	1	2	2	2	7	12
5 年 未 満								24	24
5 年 以 上 10 年 未 満						1	1	15	17
10 年 以 上 15 年 未 満							2	18	20
15 年 以 上 20 年 未 満						4	7	2	13
20 年 以 上 25 年 未 満				1	1	2	2		6
25 年 以 上 30 年 未 満				1	1				2
30 年 以 上	1		2						3
平 均 勤 続	33.0		32.0	23.0	25.0	17.7	15.8	6.5	10.5
と き が わ 消 防 団	団 員 数	1	2	4	8	12	15	71	113
	5 年 未 満							37	37
	5 年 以 上 10 年 未 満							24	24
	10 年 以 上 15 年 未 満					2	11	10	23
	15 年 以 上 20 年 未 満			1	5	9	4		19
	20 年 以 上 25 年 未 満		1	3	3	1			8
	25 年 以 上 30 年 未 満	1	1						2
	30 年 以 上								0
	平 均 勤 続	27.0	24.5	22.3	18.4	17.0	12.8	4.8	9.3
東 秩 父 消 防 団	団 員 数	1	2	3	4	9	10	74	103
	5 年 未 満							32	32
	5 年 以 上 10 年 未 満						2	30	32
	10 年 以 上 15 年 未 満				1	3	5	5	14
	15 年 以 上 20 年 未 満			1	2	4	3	7	17
	20 年 以 上 25 年 未 満		2	2	1	2			7
	25 年 以 上 30 年 未 満	1							1
	30 年 以 上								0
	平 均 勤 続	25.0	22.0	20.7	16.8	16.0	12.0	6.2	8.9
合 計	団 員 数	7	14	22	21	63	80	449	656
	平 均 勤 続	32.6	29.0	23.1	19.0	16.9	14.1	6.9	10.4

※機能別団員は人数に含まない。

消 防 団 員 の 年 齢

(令和4年4月1日現在)

階級別 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
18歳							1	1
19歳								
20歳							6	6
21歳								
22歳							4	4
23歳							11	11
24歳							15	15
25歳							18	18
26歳							19	19
27歳							24	24
28歳							20	20
29歳							23	23
30歳						1	20	21
31歳							17	17
32歳					1	1	23	25
33歳				1	2	4	30	37
34歳					1	2	17	20
35歳					1	5	19	25
36歳					4	5	21	30
37歳					1	5	23	29
38歳				1	2	4	15	22
39歳					1	6	18	25
40歳					5	8	13	26
41歳				3	3	1	14	21
42歳			1	1	5	4	10	21
43歳			1	3	5	7	8	24
44歳			1	5	4	4	14	28
45歳			1	1	6	9	10	27
46歳			2	1	5	2	4	14
47歳		2	1	2	4	3	7	19
48歳	1	1	5	1	2	1	3	14
49歳	1	1		1	2	2	7	14
50歳		2	1				3	6
51歳		2			2	1	2	7
52歳		2	2		2		1	7
53歳	1				1	1	1	4
54歳	1		2	1	2		1	7
55歳	1					1	2	4
56歳					2		3	5
57歳	1					2	1	4
58歳		1						1
59歳								
60歳以上	1	3	5			1	1	11
合 計	7	14	22	21	63	80	449	656
平均年齢	55.0	54.3	51.3	43.9	43.6	41.5	34.2	37.5

※機能別団員は人数に含まない。

消 防 団 員 年 齢 構 成

(令和4年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
		東	20 歳 未 満						
松	20歳以上25歳未満							1	1
	25歳以上30歳未満							3	3
	30歳以上35歳未満							3	3
	35歳以上40歳未満						1	11	12
	40歳以上45歳未満					1	2	11	14
	45歳以上50歳未満					2	4	10	16
	50歳以上55歳未満			2		3	2	6	13
	55歳以上60歳未満					1	3	3	7
	60 歳 以 上	1	2	5			1		9
	計	1	2	7		7	13	48	78
平均年齢	69.0	70.5	60.1	0.0	51.6	51.0	42.3	47.3	
滑	20 歳 未 満								0
川	20歳以上25歳未満							4	4
	25歳以上30歳未満							13	13
	30歳以上35歳未満							14	14
	35歳以上40歳未満						4	10	14
	40歳以上45歳未満				2	2		3	7
	45歳以上50歳未満			2		2		1	5
	50歳以上55歳未満		2						2
	55歳以上60歳未満	1							1
	60 歳 以 上								0
	計	1	2	2	2	4	4	45	60
平均年齢	55.0	51.5	48.0	42.5	44.0	38.0	32.1	35.2	
嵐	20 歳 未 満								0
山	20歳以上25歳未満							8	8
	25歳以上30歳未満							7	7
	30歳以上35歳未満					1	3	12	16
	35歳以上40歳未満					5	5	13	23
	40歳以上45歳未満				2	4	1	12	19
	45歳以上50歳未満		1	1	1	5	1	10	19
	50歳以上55歳未満	1	1	1				1	4
	55歳以上60歳未満								0
	60 歳 以 上								0
	計	1	2	2	3	15	10	63	96
平均年齢	53.0	49.0	49.0	44.0	41.1	36.4	36.1	37.9	
小	20 歳 未 満								0
川	20歳以上25歳未満							6	6
	25歳以上30歳未満							23	23
	30歳以上35歳未満						2	25	27
	35歳以上40歳未満					2	3	18	23
	40歳以上45歳未満					2	3	8	13
	45歳以上50歳未満			1	2	3	8	4	18
	50歳以上55歳未満		1	1		1		1	4
	55歳以上60歳未満	1	1			1		3	6
	60 歳 以 上							1	1
	計	1	2	2	2	9	16	89	121
平均年齢	57.0	55.0	50.0	48.0	45.1	42.0	34.1	37.0	

※機能別団員は人数に含まない。

消 防 団 員 年 齢 構 成

(令和4年4月1日現在)

階級別 団別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
	吉見消防団							
20歳未満								0
20歳以上25歳未満							5	5
25歳以上30歳未満							13	13
30歳以上35歳未満					1		17	18
35歳以上40歳未満						2	11	13
40歳以上45歳未満			1		3	8	12	24
45歳以上50歳未満				1	2	2	1	6
50歳以上55歳未満	1	1	1	1	1			5
55歳以上60歳未満								0
60歳以上		1						1
計	1	2	2	2	7	12	59	85
平均年齢	54.0	57.5	47.0	51.0	43.7	42.3	44.8	45.0
ときがわ消防団								0
20歳未満								0
20歳以上25歳未満							9	9
25歳以上30歳未満							28	28
30歳以上35歳未満					1	1	17	19
35歳以上40歳未満					2	5	10	17
40歳以上45歳未満			1	7	6	8	7	29
45歳以上50歳未満	1	1	3	1	3	1		10
50歳以上55歳未満		1						1
55歳以上60歳未満								0
60歳以上								0
計	1	2	4	8	12	15	71	113
平均年齢	49.0	49.0	45.5	42.9	41.3	39.5	30.6	34.8
東秩父消防団							1	1
20歳未満							1	1
20歳以上25歳未満							4	4
25歳以上30歳未満							18	18
30歳以上35歳未満				1	1	2	18	22
35歳以上40歳未満				1		5	21	27
40歳以上45歳未満			1	1	4	3	7	16
45歳以上50歳未満	1	2	2	1	2		5	13
50歳以上55歳未満					2			2
55歳以上60歳未満								0
60歳以上								0
計	1	2	3	4	9	10	74	103
平均年齢	48.0	48.0	45.7	40.3	44.2	37.7	33.5	35.9

※機能別団員は人数に含まない。

基本消防団員と機能別消防団員の定数と実数

(令和4年4月1日現在)

	定 数			実 数		
	基本消防団員	機能別消防団員	計	基本消防団員	機能別消防団員	計
東松山消防団	101		101	(9) 78		78
滑川消防団	60		60	(5) 60		60
嵐山消防団	100	10	110	(7) 96	(1) 8	104
小川消防団	130		130	(10) 121		121
吉見消防団	95	20	115	(5) 85	(2) 10	95
ときがわ消防団	130	15	145	(7) 113	8	121
東秩父消防団	109	10	119	(8) 103	8	111
合 計	725	55	780	(51) 656	(3) 34	690

()内は、女性消防団員数を示す。

消 防 団 車 庫 所 在 地

(令和4年4月1日現在)

区 分	所 在 地	建 築 年 月	面 積 (㎡)	構 造	
東 松 山 消 防 団	団 本 部	東松山市大字上野本1300-1	東松山消防署内		
	第 1 分 団	東松山市大字松山2560-1	平23. 3	97.33	鉄骨造 1階建
	第 2 分 団	東松山市箭弓町2-5-2	平10.11	96.74	鉄骨造 2階建
	第 3 分 団	東松山市大字大谷3401	平14.10	99.89	鉄骨造 2階建
	第 4 分 団	東松山市大字下唐子1605-2	平28. 1	98.81	鉄骨造 2階建
	第 5 分 団	東松山市大字高坂944-1	平24. 1	98.62	鉄骨造 2階建
	第 6 分 団	東松山市大字下野本626-4	平21.11	102.64	鉄骨造 1階建
滑 川 消 防 団	第1分団第1部	滑川町大字福田1613-5	平14. 3	86.70	鉄筋コンクリート造 1階建
	第1分団第2部	滑川町大字福田836-3	昭46. 5	76.00	コンクリートブロック造 1階建
	第2分団第1部	滑川町大字羽尾2791-1	昭50. 1	391.84	鉄筋コンクリート造 2階建
	第2分団第2部	滑川町大字月輪1522-58	平20.10	89.61	鉄骨造 1階建
嵐 山 消 防 団	第1分団第1部	嵐山町大字菅谷450-1	平24. 1	83.63	木造一部鉄骨造 1階建
	第1分団第2部	嵐山町大字志賀926-1	平 6.11	86.00	鉄骨造 1階建
	第1分団第3部	嵐山町大字鎌形245-3	令 4. 3	83.63	木造一部鉄骨造 1階建
	第2分団第1部	嵐山町大字越畑672-6	平 2. 2	68.40	鉄骨造 1階建
	第2分団第2部	嵐山町大字古里428-3	平 9. 5	142.50	鉄骨造 1階建
小 川 消 防 団	団 本 部	小川町大字上横田1247-2	小川消防署内		
	第1分団第1部	小川町大字小川216-7	昭59. 9	65.59	鉄骨造 2階建
	第1分団第2部	小川町大字大塚140-1	昭53. 9	74.24	鉄骨造 2階建
	第1分団第3部	小川町大字大塚1195-1	平 3. 3	60.75	鉄骨造 2階建
	第1分団第4部	小川町大字上横田1935-3	令 2.12	66.33	鉄骨造 1階建
	第2分団第1部	小川町大字増尾25-3	平 2. 1	76.30	鉄骨造 2階建
	第2分団第2部	小川町大字腰越181-2	昭62.12	66.57	木造 1階建
	第2分団第3部	小川町大字青山1437-7	平22. 3	66.24	鉄骨造 1階建
	第2分団第4部	小川町大字木部26-19	平27. 2	66.33	鉄骨造 1階建

消 防 団 車 庫 所 在 地

(令和4年4月1日現在)

区 分	所 在 地	建 築 年 月	面 積 (m ²)	構 造	
吉見消防団	第1分団第1部	吉見町東野4-22-4	平 8. 3	69.56	木造 2階建
	第1分団第2部	吉見町大字久保田931-1	平 5. 1	66.24	木造 2階建
	第1分団第3部	吉見町大字江和井787-2	平 6. 3	67.00	木造 2階建
	第2分団第1部	吉見町大字長谷335-1	昭63. 3	66.24	木造 2階建
	第2分団第2部	吉見町大字地頭方464	平 7. 3	66.24	木造 2階建
	第2分団第3部	吉見町大字和名811	平 4. 3	66.24	木造 2階建
ときがわ消防団	団 本 部	ときがわ町大字桃木30-1	昭48. 4	301.80	鉄筋コンクリート造 2階建
	第1分団第1部	ときがわ町大字玉川1431-1	平10.12	94.45	木造 2階建
	第1分団第2部	ときがわ町大字玉川4794-4	平15. 2	93.26	木造 2階建
	第1分団第3部	ときがわ町大字五明691-3	平16.10	94.00	木造 2階建
	第2分団第1部	ときがわ町大字番匠629-1	平 7.11	77.30	木造 2階建
	第2分団第2部	ときがわ町大字本郷840-1	平10. 3	77.00	木造 2階建
	第2分団第3部	ときがわ町大字瀬戸元下463-3	平19.11	94.32	木造 2階建
	第3分団	ときがわ町大字西平238-1	平 1. 9	64.00	木造 2階建
東秩父消防団	第1分団第1部	東秩父村大字安戸627-5	平 2. 3	76.12	木造モルタル 2階建
		東秩父村大字安戸880-4	平 4.12	39.60	木造モルタル 2階建
	第1分団第2部	東秩父村大字御堂103-6	昭55.12	62.10	木造モルタル 2階建
		東秩父村大字御堂1143-8	昭55.12	47.85	木造モルタル 2階建
	第1分団第3部	東秩父村大字奥沢203-1	昭55.12	62.10	木造モルタル 2階建
	第2分団第1部	東秩父村大字坂本1306-3	昭49. 5	65.60	木造 2階建
	第2分団第2部	東秩父村大字大内沢768	昭58. 8	64.23	木造モルタル 2階建
	第2分団第3部	東秩父村大字皆谷85-3	昭63. 5	67.67	木造モルタル 2階建
		東秩父村大字白石853-1	平 4. 2	57.75	木造モルタル 1階建

消防団保有車両一覧表

(令和4年4月1日現在)

区分	No.	名称	シャシ・ポンプ等	登録ナンバー	初年度登録	備考		
東松山消防団	団本部	1	本部広報車	トヨタ・ライトエース	熊谷800 す 217	H18. 7	広報装置	
	1分団	2	水槽付消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す4869	H26. 2	水I-A型・水槽(1.5t)・軽車	
	2分団	3	水槽付消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す5302	H27. 1	水I-A型・水槽(1.5t)・軽車	
	3分団	4	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す4263	H25. 2	CD-I型4WD・軽車	
	4分団	5	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す3708	H24. 2	CD-I型4WD・軽車	
	5分団	6	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す3710	H24. 2	CD-I型4WD・軽車	
	6分団	7	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す4264	H25. 2	CD-I型4WD・軽車	
滑川消防団	1分団	1部	8	消防ポンプ車	トヨタ・モタA-2	熊谷831 ね 11	R 3. 1	CD-I型(3.5t未満車両)・軽車
		2部	9	消防ポンプ車	トヨタ・モタA-2	熊谷830 む 12	R 1.10	CD-I型(3.5t未満車両)・軽車
	2分団	1部	10	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す4072	H24.10	CD-I型(可搬積)・軽車
		2部	11	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す1883	H20. 9	CD-I型(可搬積)
嵐山消防団	1分団	1部	12	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す1212	H19.10	CD-I型・水槽(0.9t)・軽車
		2部	13	水槽付消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷830 さ2603	H26. 2	水I-A型・水槽(1.5t)
		3部	14	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 ひ 7	H25. 3	CD-I型4WD(可搬積)・軽車
	2分団	1部	15	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す2546	H21.10	CD-I型・水槽(0.9t)
		2部	16	消防ポンプ車	トヨタ・モタA-2	熊谷831 る 119	R 1.10	CD-I型(3.5t未満車両)
小川消防団	団本部	17	本部広報車	ホンダ・ステップワゴン	熊谷800 す5236	H26.11	広報装置	
	1分団	1部	18	消防ポンプ車	日野・GM A-2	熊谷831 と 11	R 2. 9	CD-I型(可搬積)
		2部	19	水槽付消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す2748	H22. 2	水I-A型・水槽(1.5t)
		3部	20	消防ポンプ車	いすゞ・モタA-2	熊谷830 そ1003	H27. 9	CD-I型4WD(可搬積)
		4部	21	消防ポンプ車	三菱・モタA-2	熊谷800 さ6068	H14.11	CD-I型(可搬積)
	2分団	1部	22	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷831 み 119	H25. 2	CD-I型4WD・軽車
		2部	23	水槽付消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す2586	H21.11	水I-A型・水槽(1.5t)
		3部	24	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す1213	H19.10	CD-I型4WD(可搬積)
		4部	25	消防ポンプ車	いすゞ・モタA-2	熊谷830 む 24	H31. 2	CD-I型4WD(救助資機材搭載型車両)
	吉見消防団	1分団	1部	26	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す2547	H21.10
2部			27	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す3709	H24. 2	CD-I型4WD・軽車
3部			28	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷830 せ 103	H27. 2	CD-I型4WD・軽車
2分団		1部	29	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す3087	H22.10	CD-I型4WD・軽車
		2部	30	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷830 そ 202	H25. 2	CD-I型4WD・軽車
		3部	31	消防ポンプ車	日野・GM A-2	熊谷830 て 23	H29. 2	CD-I型4WD・軽車
ときがわ消防団	団本部	32	本部広報車	トヨタ・ノア	熊谷800 す2461	H21. 8	広報装置	
	1分団	1部	33	水槽付消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷803 ふ 1	H29. 2	水I-A型・水槽(1.5t)・軽車
		2部	34	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷830 た 102	H27. 2	CD-I型(可搬積)・軽車
		3部	35	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す4239	H25. 2	CD-I型(可搬積)・軽車
	2分団	1部	36	水槽付消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷831 む 119	H25.10	水I-A型・水槽(1.5t)・軽車
		2部	37	消防ポンプ車	日野・GM A-2	熊谷830 ね 22	H31. 3	CD-I型(可搬積)・軽車
		3部	38	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷830 そ 203	H27. 9	CD-I型(可搬積)・軽車
	3分団	39	小型動力ポンプ積載車	いすゞ・モタB-2	熊谷800 す1209	H19.10	小型動力ポンプ	
		40	消防ポンプ車	日野・GM A-2	熊谷800 す1907	H20.10	CD-I型4WD(可搬積)	
	東秩父消防団	1分団	1部	41	水槽付消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷830 さ8210	H21. 1
1部			42	小型動力ポンプ積載車	いすゞ・シウワB-3	熊谷800 さ9375	H17. 9	小型動力ポンプ
2部			43	消防ポンプ車	日野・モタA-2	熊谷800 す1906	H20.10	CD-I型4WD
2部			44	小型動力ポンプ積載車	いすゞ・シウワB-3	熊谷800 さ9376	H17. 9	小型動力ポンプ
3部			45	水槽車	いすゞ・シウワB-2	熊谷831 や 119	H27. 2	水槽(2.5t)・小型動力ポンプ・高圧ポンプ
2分団		1部	46	消防ポンプ車	日野・GM A-2	熊谷830 の 21	R 2. 2	CD-I型4WD(可搬積)
		2部	47	小型動力ポンプ積載車	日産・メキタB-2	熊谷800 す2792	H22. 3	救助資機材搭載車・小型動力ポンプ
		3部	48	水槽車	いすゞ・シウワB-2	熊谷830 つ 23	H28.11	水槽(2.5t)・小型動力ポンプ・高圧ポンプ
		3部	49	水槽車	日野・シウワB-2	熊谷830 は 23	R 4. 2	水槽(2t)・小型動力ポンプ・高圧ポンプ

消 防 年 報

令和4年度刊行
令和4年6月1日
比企広域消防本部
東松山市大字上野本1300-1
TEL 0493-23-2266
FAX 0493-22-3905

